

苦 前 町
日常生活圏域ニーズ調査
報 告 書

平成24年 2 月

苦 前 町

目次

第1章 調査の実施概要と内容	1
第2章 回答者の属性	2
基本属性	2
1 あなたのご家族や生活状況について	4
第3章 調査結果の概観	8
1 機能	8
2 日常生活	9
3 健康・疾病	10
第4章 評価項目別の結果	11
1 機能	11
2 日常生活	25
3 社会活動	30
第5章 健康・疾病	33
1 疾病	33
2 主観的健康感	36
第6章 介護の状況	38
調査表	40

第1章 調査の実施概要と内容

1 調査の目的

この調査は、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現に向けた施策形成の基礎資料とするため、また、個々の高齢者の介護予防に役立てるために実施するものです。

2 調査の対象者

苫前町内に居住する65歳以上の方。ただし、施設に入所している方及び要介護度3以上の方を除く。

3 調査方法と調査実施期間

(1)調査方法

調査対象者に調査票を郵送し、郵送を基本として回収した。

(2)調査実施期間

平成23年3月17日から平成23年3月31日まで

4 調査票

別紙のとおり（末尾に掲載）

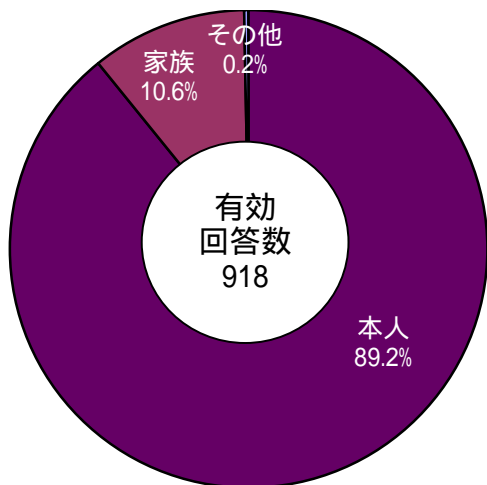
5 調査票の発送・回収の状況

発送数	回収数	回収率
1,252 件	918 件	73.3 %

第2章 回答者の属性

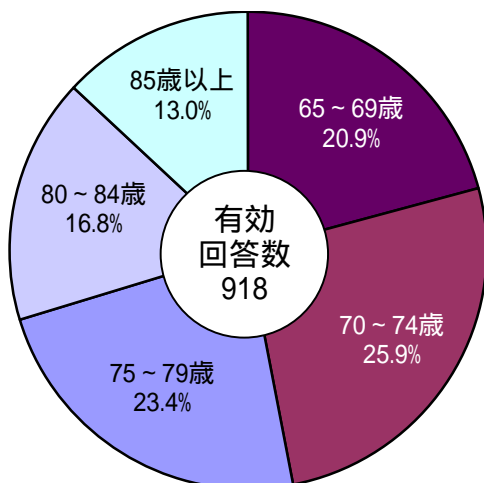
基本属性

問ア この調査表を記入する方は、どなたですか。（ は1つ）



回答者は、「本人」が89.2%を占めています。

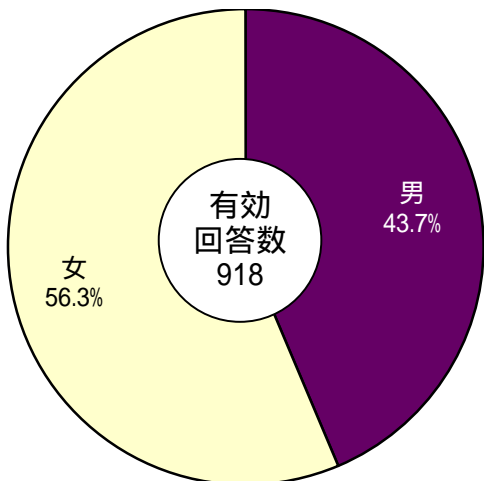
年齢



対象者の年齢は、「65~69歳」が20.9%、「70~74歳」が25.9%で、これらを合わせると《前期高齢者》は46.8%となります。

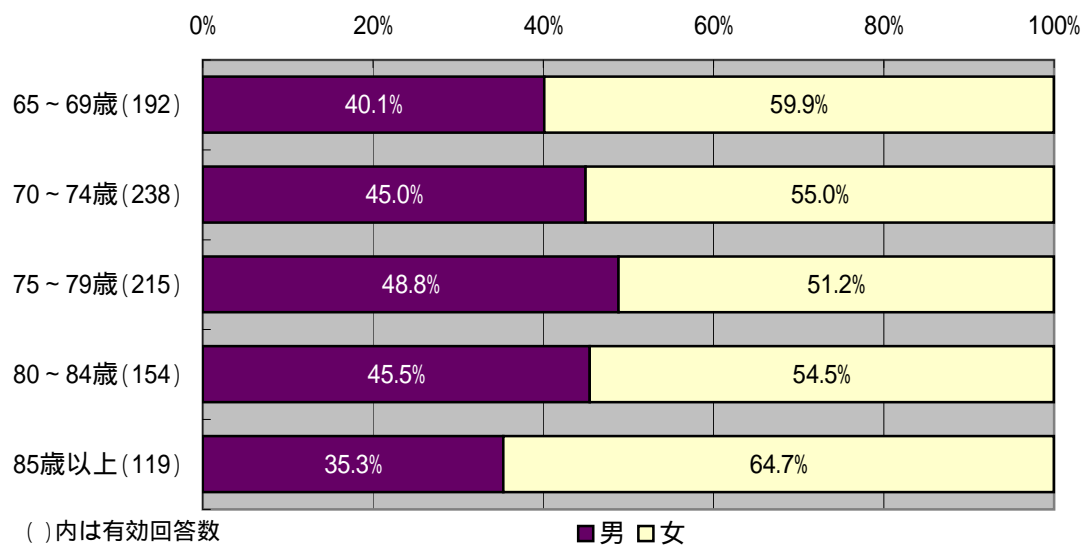
一方、「75~79歳」（23.4%）以降の項目を合わせると、《後期高齢者》が53.2%となっています。

性別



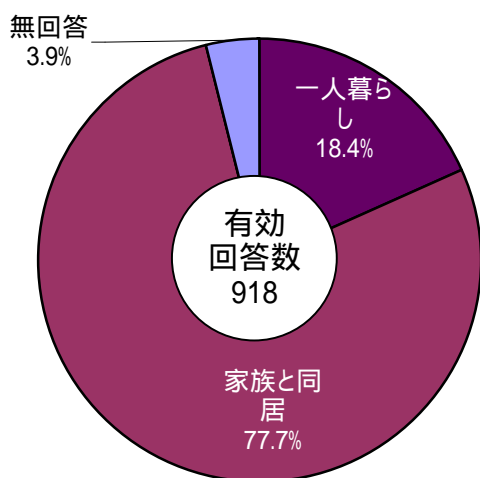
対象者の性別は、「男性」が43.7%に対し、「女性」が56.3%と高くなっています。年齢別にみても、すべての年代で「女性」の割合が高くなっています。

【年齢別】



1 あなたのご家族や生活状況について

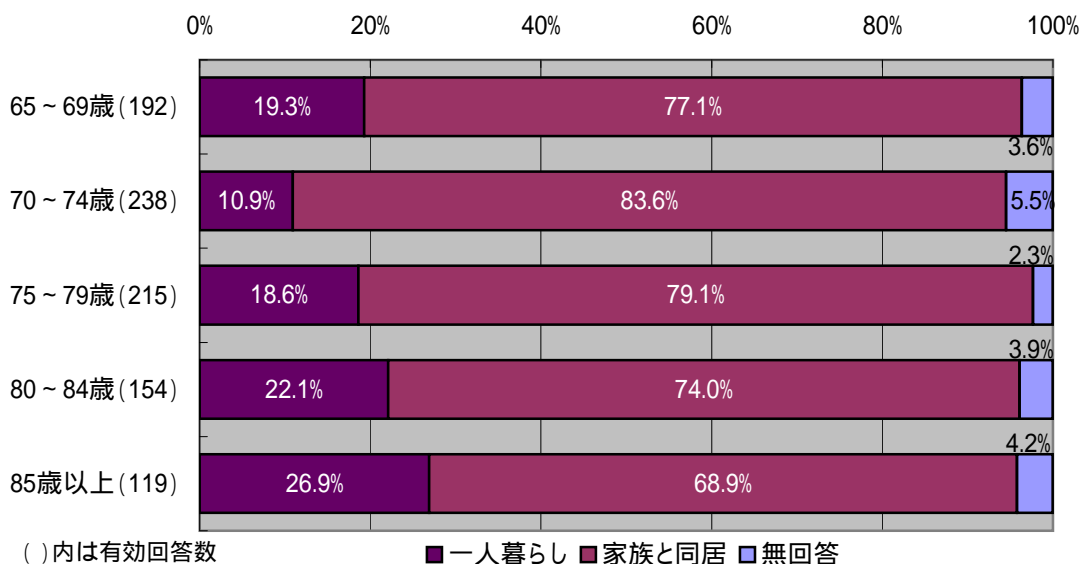
問1 あなたの家族構成は、どれですか。（ はそれぞれ1つ）



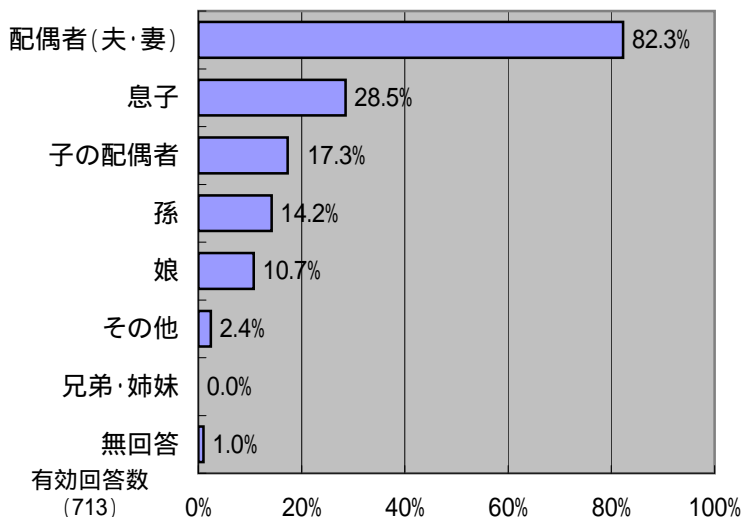
対象者の家族構成は、「家族と同居」が77.7%と高くなっています。また、「一人暮らし」が18.4%となっています。

年齢別にみると、「65～69歳」を除き、年齢が高くなるにつれて、「一人暮らし」の割合も高くなっています。

【年齢別】



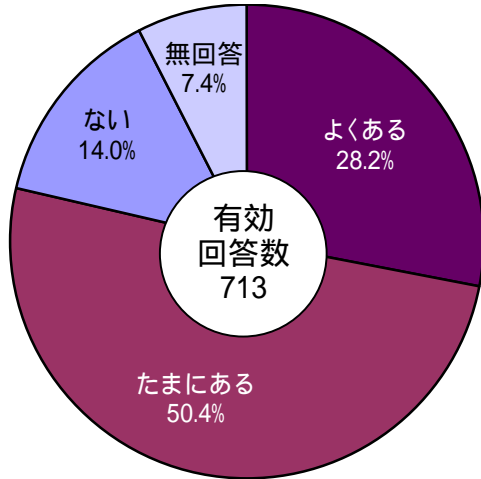
問1-1 ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか。（あてはまるものすべてに ）



問1で「家族と同居」と回答した方に、何人で暮らしているか尋ねたところ、平均2.74人となりました。

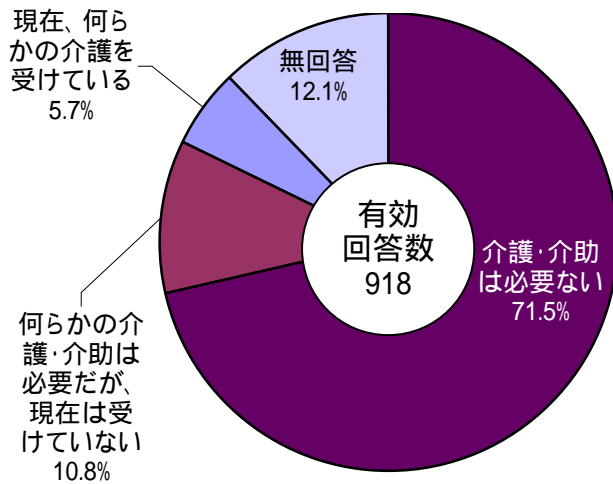
さらに、同居家族は、「配偶者(夫・妻)」が82.3%と最も高く、次いで「息子」が28.5%、「子の配偶者」が17.3%となっています。

問1-2 日中、一人になることがありますか。



問1で「家族と同居」と回答した方に、日中一人になることがあるか尋ねたところ、「よくある」が28.2%、「たまにある」が50.4%で、これらを合わせると、《ある》は78.6%となっています。

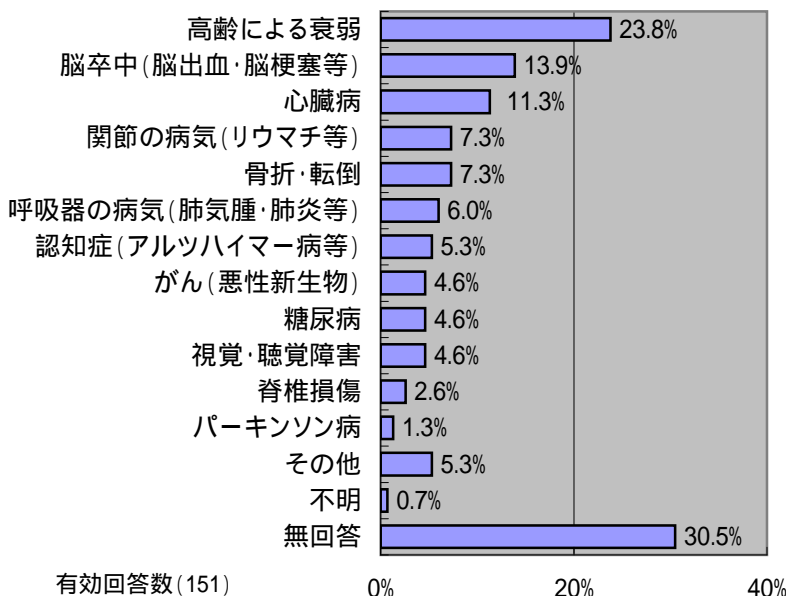
問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（ は1つ）



介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が71.5%を占めています。

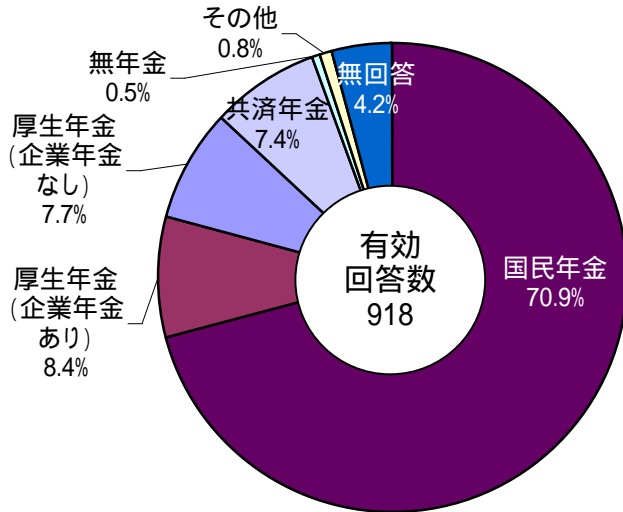
一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（10.8%）と「現在、何らかの介護を受けている」（5.7%）を合わせると、《介護・介助は必要》は16.5%となっています。

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（あてはまるものすべてに ）



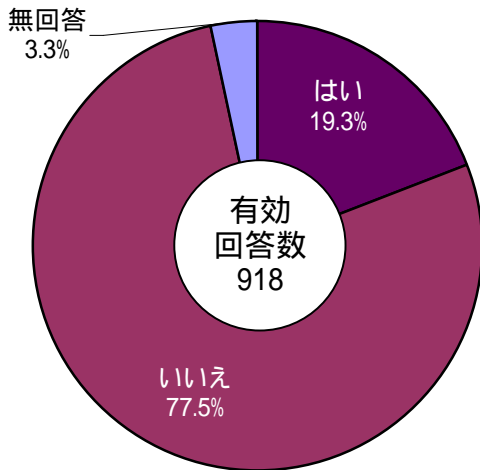
問2で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」又は「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に、介護・介助が必要になった原因を尋ねたところ、「高齢による衰弱」が23.8%で最も高くなっています。次いで「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が13.9%、「心臓病」が11.3%、「関節の病気(リウマチ等)」と「骨折・転倒」が7.3%となっています。

問3 あなたの年金の種類はどれですか。



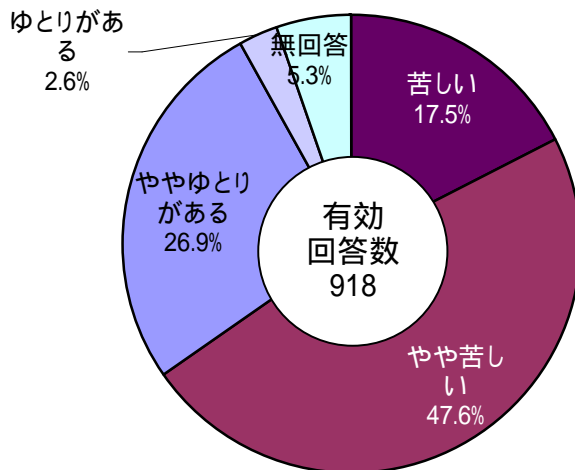
年金の種類は、「国民年金」が70.9%を占めています。次いで「厚生年金(企業年金あり)」が8.4%、「厚生年金(企業年金なし)」が7.7%となっています。これらを合わせると、《厚生年金》は16.1%となっています。

問4 現在、収入のある仕事をしていますか。



収入がある仕事をしているか尋ねたところ、「はい」が19.3%で、「いいえ」が77.5%と高くなっています。

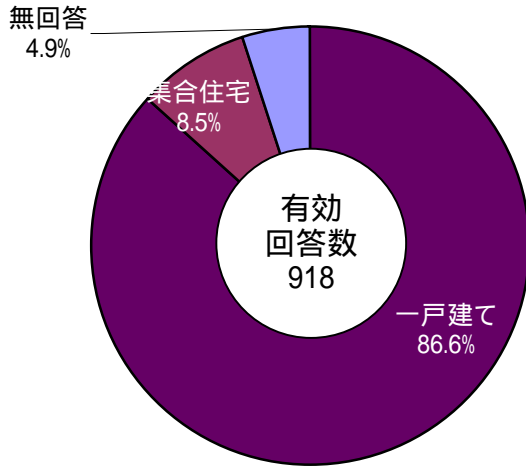
問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。



現在の暮らしの状況は、「やや苦しい」が47.6%と最も高く、「苦しい」(17.5%)を合わせて、《苦しい》が65.1%となっています。

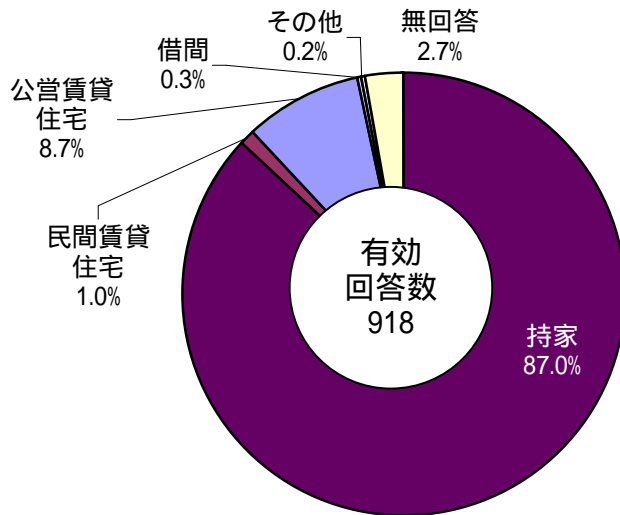
一方で、「ややゆとりがある」(26.9%)と「ゆとりがある」(2.6%)を合わせると、《ゆとりがある》は29.5%となっています。

問6 お住まいは、一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。



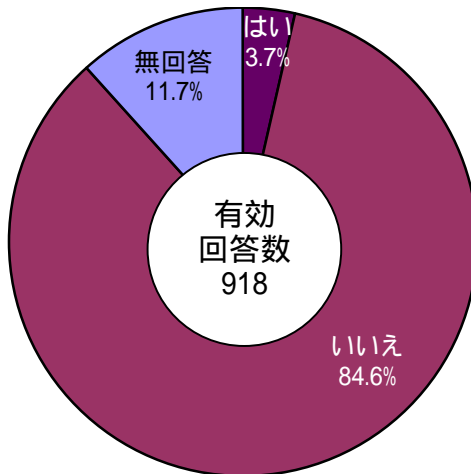
住まいの形態は、「一戸建て」が86.6%を占め、「集合住宅」が8.5%となっています。

問7 お住まいは次のどれにあたりますか。



住まいの所有形態は、「持家」が87.0%を占めています。

問8 お住まい(主に生活する部屋)は2階より上にありますか。



主に生活する部屋が2階以上か尋ねたところ、「はい」が3.7%、「いいえ」が84.6%となっています。

第3章 調査結果の概観

この報告書における要介護状況の区分は、以下のとおりとなっています。

- ・要介護者 = 要介護認定を受けている方(要介護2までの方)
- ・二次予防対象者 = 基本チェックリストの集計で、二次予防事業の対象条件に該当した方(要介護者を除く)
- ・一般高齢者 = 要介護者及び二次予防対象者に該当しない方

図表における略記

- ・要介護者 要介護
- ・二次予防対象者 予防
- ・一般高齢者 一般

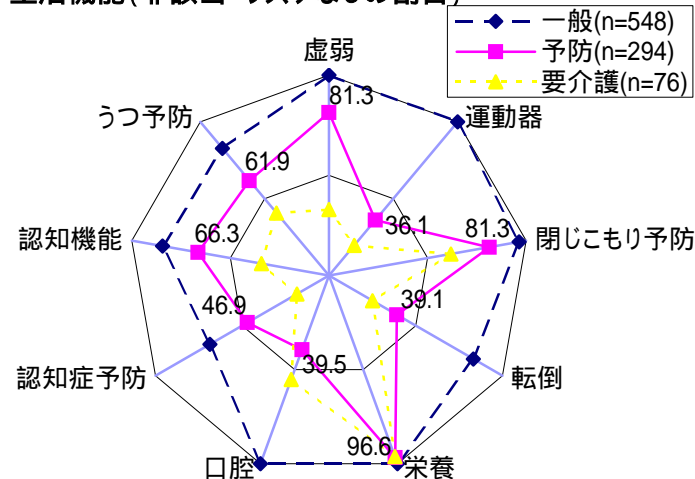
1 機能

(1) 項目別評価結果

生活機能の評価項目ごとの非該当者(リスクなし)の割合をみると、一般高齢者でその割合が最も高く、次いで二次予防対象者、要介護者の順となっており、それぞれの生活機能のレベルを反映した結果となっています。

二次予防対象者選定の直接の条件になっていない、認知症予防、認知機能、うつ予防、転倒、閉じこもり予防については、二次予防対象者に比べて率は低いものの、一般高齢者の中にも該当者(リスク者)が相当数いることがわかります。

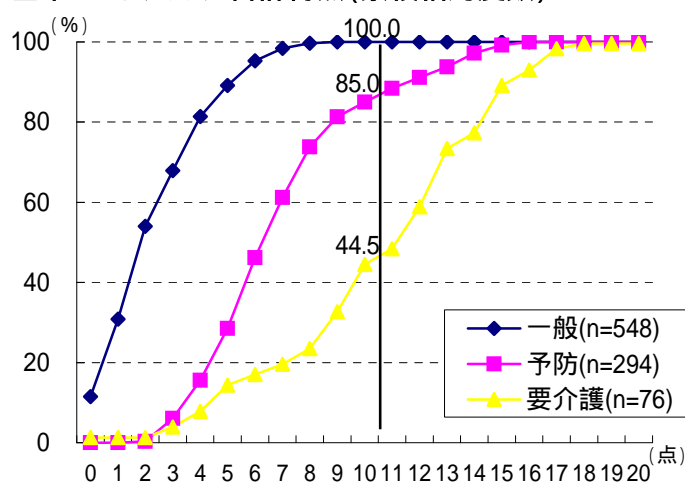
生活機能(非該当・リスクなしの割合)



(2) 総合指標

基本チェックリスト25問のうち、うつ予防に関する設問を除く20問について、各設問で該当となる回答をした場合を各1点として、その合計得点の分布を累積相対度数でみると、10点以下の割合は、一般高齢者が100%、二次予防対象者が85.0%、要介護者が44.5%となっています。

基本チェックリスト合計得点(累積相対度数)



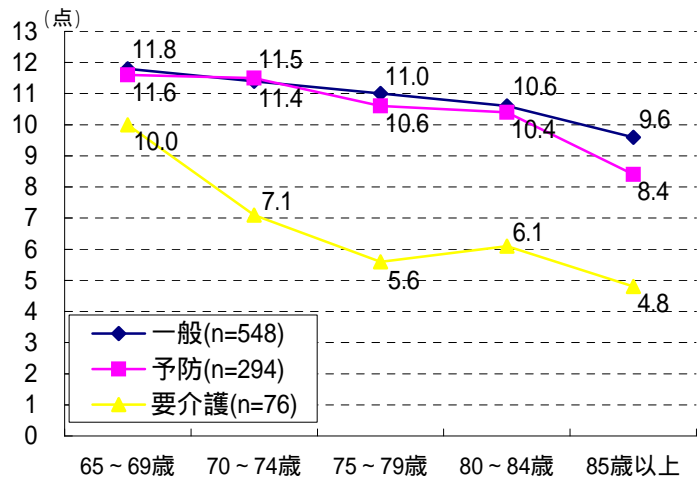
2 日常生活

(1) 老研式活動能力指標 (I A D L)

高齢者の比較的高次の生活機能の指標として定着している老研式活動能力指標(13項目)について、その生活機能得点(平均)をみると、おおむねすべての年代で一般高齢者が最も高く、次いで二次予防対象者、要介護者の順となっています。

認定の有無にかかわらず、年齢が上がるほどその得点は低下していますが、要介護者でその低下幅が大きくなっています。

認定状況別生活機能得点

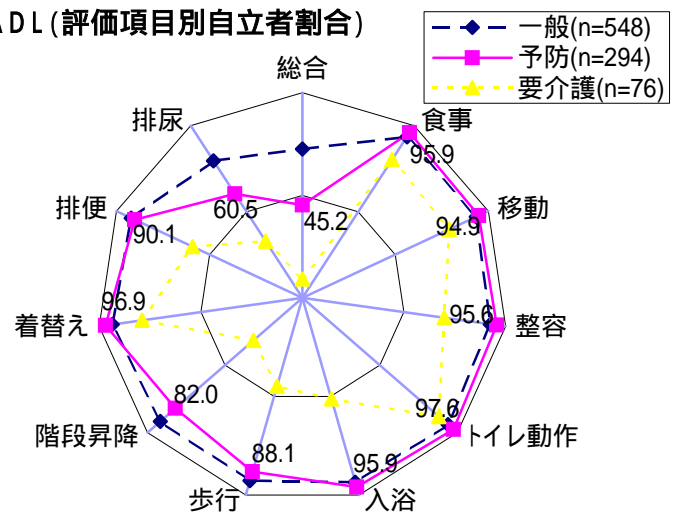


(2) 日常生活動作 (A D L)

高齢者の日常生活動作(ADL)の状況を見ると、「自立」と評価される者の割合は、総合的には一般高齢者が最も若く、次いで二次予防対象者、要介護者の順となっています。

二次予防対象者についてみると、多くの項目で9割を超えていますが、排尿は60.5%と低下しており、日常生活動作の中でも、比較的早い時期に低下するものとそうでないものとがあることがうかがえます。

ADL(評価項目別自立者割合)



3 健康・疾病

(1) 有病率

疾病の有病率をみると、要介護の原因となる脳卒中、心臓病、糖尿病、外傷、認知症では、要介護者の有病率が高くなっています。

要介護の原因疾病の中でも脳卒中や認知症などは、有病率が認定者は高くなっている一方、筋骨格系は二次予防対象者の有病率が高くなっています。

疾病の状況(有病率)

単位：%

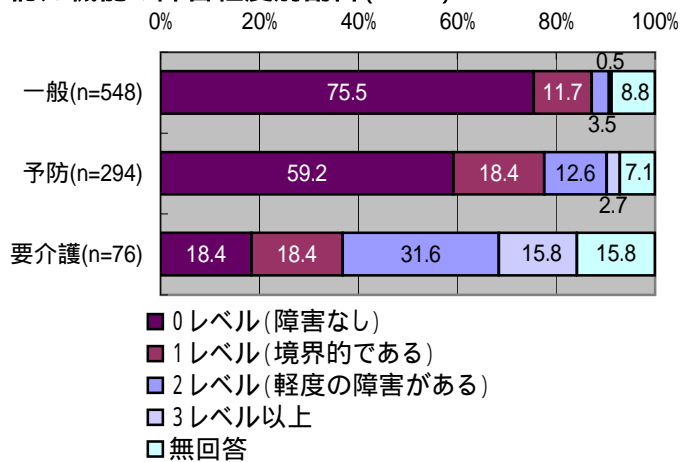
疾病	一般	予防	要介護
高血圧	39.1	45.6	28.9
脳卒中	3.3	5.8	21.1
心臓病	8.8	12.9	18.4
糖尿病	10.9	13.3	15.8
高脂血症	7.3	8.5	2.6
呼吸器系	3.3	8.8	6.6
胃腸・肝臓・胆のう	6.6	13.9	7.9
腎臓・前立腺	5.5	9.5	10.5
筋骨格系	8.4	16.3	14.5
外傷	0.7	2.0	9.2
がん	3.1	4.4	2.6
血液・免疫	0.9	1.0	1.3
うつ病	0.5	0.7	0.0
認知症	0.2	0.7	10.5
パーキンソン病	0.2	0.3	1.3
目	10.0	20.4	22.4
耳	3.8	12.2	11.8

(2) 認知機能の障害程度

回答結果からCPS（Cognitive Performance Scaleの略。認知機能の障害程度の指標）に準じて評価される認知機能の障害程度区分の分布をみると、認知機能の障害ありと氷化される者の割合が最も高いのは要介護者で65.8%、次いで二次予防対象者で33.7%、一般高齢者で15.7%の順となっています。

CPSで認知症の行動・心理症状がみられるのは3レベル以上といわれており、その割合は、要介護者で15.8%となっています。

認知機能の障害程度別割合(CPS)



第4章 評価項目別の結果

1 機能

(1) 運動器

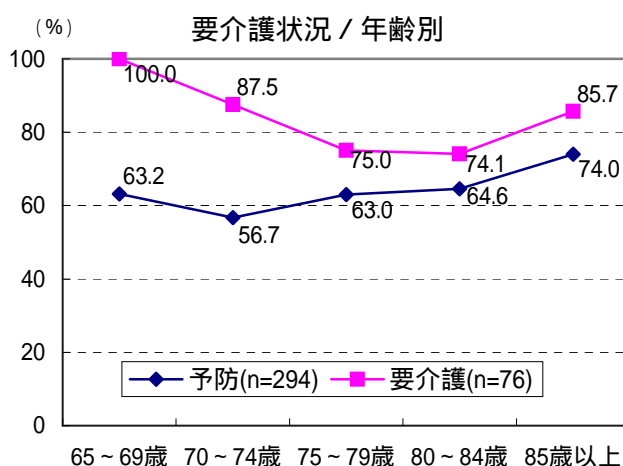
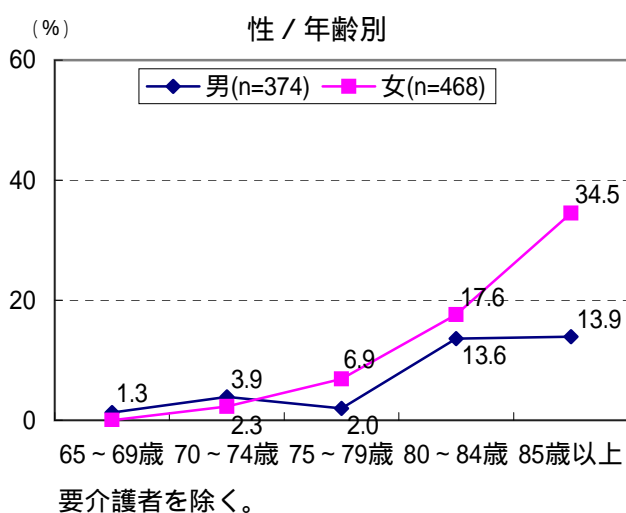
該当状況

基本チェックリストに基づく運動器の該当状況をみると、要介護者を除く全体で7.2%（男性で5.3%、女性8.8%）が該当者となっています。

性/年齢別でみると、男女ともに年齢が上がるほど該当者割合が高く、女性が75歳以上で男性を上回り、特に、85歳以上での差が大きくなっています。

二次予防対象者と要介護者を比較すると、いずれの年齢でも要介護者が二次予防対象者を上回り、特に、75歳未満での差が大きくなっています。

該当者割合



回答状況

回答結果

単位：%

設問（該当する回答）	非要介護(n=842)		要介護(n=76)
	一般(n=548)	予防(n=294)	
問9 階段を、手すりや壁をつたわずに昇っていますか。（いいえ）	39.4		81.6
	24.8	66.7	
問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（いいえ）	15.0		76.3
	4.2	35.0	
問11 15分位続けて歩いていますか。（いいえ）	19.2		73.7
	8.9	38.4	
問18 この1年間に転んだことがありますか。（はい）	29.5		48.7
	17.5	51.7	
問19 転倒に対する不安は大きいですか。（はい）	50.6		82.9
	35.9	77.9	

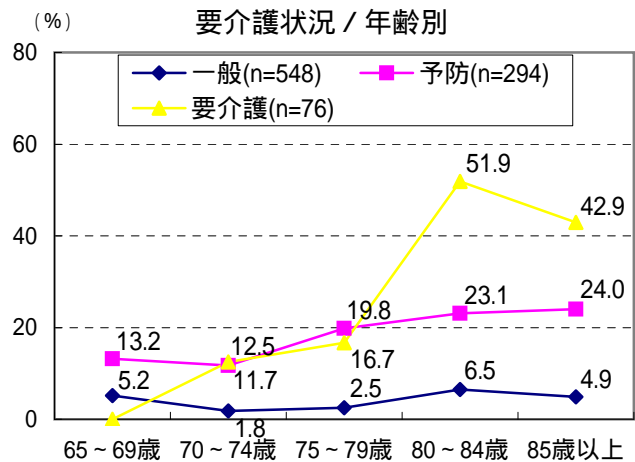
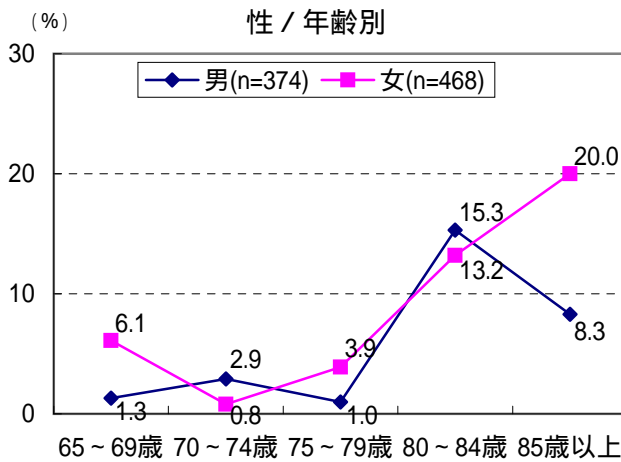
(2) 閉じこもり予防

該当状況

基本チェックリストに基づく閉じこもり予防の該当状況をみると、要介護者を除く全体で5.8%（男性4.5%、女性6.8%）となっています。おおむね年齢が上がるほど該当者割合が高くなっています。

要介護状況別でみると、おおむね要介護者、二次予防対象者、一般高齢者の順で該当者割合が高くなっています。特に、要介護者は80～84歳で51.9%、85歳以上で42.9%と高くなっています。

該当者割合



要介護者を除く。

回答状況

回答結果

単位：%

設問（該当する回答）	非要介護(n=842)		要介護(n=76)
	一般(n=548)	予防(n=294)	
問13 週に1回以上は外出していますか。（いいえ）	8.9		38.2
	3.6	18.7	
< 関連設問 >			
問12 5メートル以上歩けますか。（いいえ）	2.4		18.4
	0.7	5.4	
問14 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（はい）	35.3		53.9
	23.5	57.1	
問16 外出する頻度 A - 買い物（週1日未満）	9.0		21.1
	6.8	13.3	
問16 外出する頻度 B - 散歩（週1日未満）	9.3		15.8
	6.9	13.6	

設問	選択肢	一般	予防	要介護
問15-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。	病気	10.7	12.8	13.7
	障害	1.3	3.2	11.8
	足腰の痛み	46.7	64.0	58.8
	トイレ	12.0	14.4	27.5
	耳の障害	13.3	9.6	17.6
	目の障害	6.7	8.0	13.7
	外の楽しみ	12.0	7.2	7.8
	経済的に	13.3	12.0	3.9

(3) 転倒

設問と評価

今回の調査では、基本チェックリストの結果に基づく運動器の機能の評価に加え、転倒リスクについても別に評価しています。

調査票の問18、問20～問22、問68の5問で、内容としては、転倒経験（基本チェックリストと重複）、背中が丸くなってきましたか、杖の使用、歩行速度、薬の多剤服用の有無となっています。

評価における各設問に対する配点は、下の表のとおりで、転倒経験が5点、その他が各2点で、13点満点のスコアとして評価が可能となっています。

6点以上を転倒リスクありとして評価しています。

転倒リスクの評価方法

問番号	設問	配点	選択肢
問18	この1年間に転んだことがありますか	5 0	「1. はい」 「2. いいえ」
問20	背中が丸くなってきましたか	2 0	「1. はい」 「2. いいえ」
問21	歩く速度が遅くなってきたと思いますか	2 0	「1. はい」 「2. いいえ」
問22	杖を使っていますか	2 0	「1. はい」 「2. いいえ」
問68	現在、何種類の薬を飲んでいますか	2 0	「5. 5種類以上」 1～4又は6

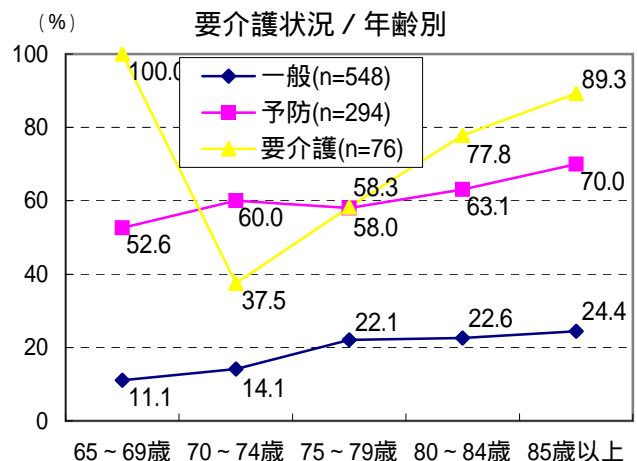
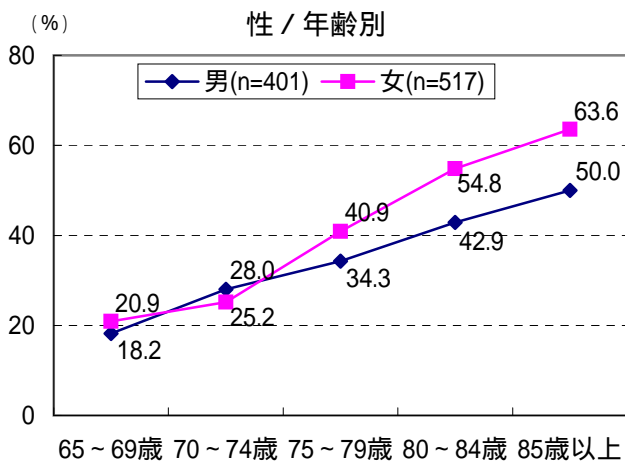
6点以上でリスクありと判定

リスク状況

転倒のリスク者割合を見ると、要介護者も含む全体で35.7%（男性32.7%、女性38.1%）となっています。男女ともに年齢が上がるほどリスク割合が高く、また、70～74歳を除き、女性が男性を上回っています。

要介護状況別でみると、おおむね要介護者、二次予防対象者、一般高齢者の順で該当者割合が高くなっています。

該当者割合



回答状況

回答結果

単位：%

設問（該当する回答）	非要介護(n=842)		要介護 (n=76)
	一般 (n=548)	予防 (n=294)	
問18 この1年間に転んだことがありますか。（はい）	29.5		48.7
	17.5	51.7	
問20 背中が丸くなってきましたか。（はい）	31.8		67.1
	23.5	47.3	
問21 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。 （はい）	61.2		86.8
	48.2	85.4	
問22 杖を使っていますか。（はい）	12.8		68.4
	5.8	25.9	
問68 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか。（5種類以上）	23.2		51.3
	16.1	36.4	

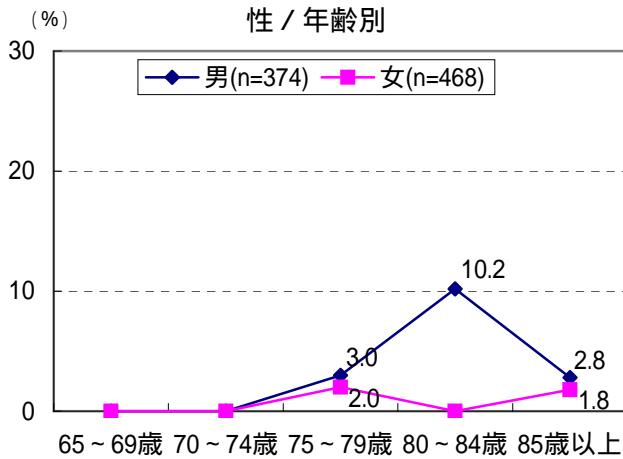
(4) 栄養

該当状況

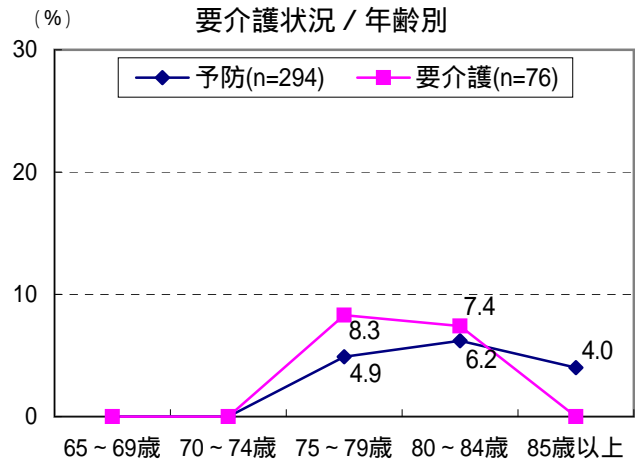
基本チェックリストに基づく栄養改善の該当状況をみると、要介護者を除く全体で1.5%（男性2.7%、女性0.6%）となっており、該当者割合は、他の項目に比べて低くなっています。

二次予防対象者と要介護者を比較すると、おおむね要介護者が二次予防対象者を上回っています。

該当者割合



要介護者を除く。



回答状況

回答結果

単位：%

設問（該当する回答）	非要介護(n=842)		要介護(n=76)
	一般(n=548)	予防(n=294)	
問23 最近6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(はい)	14.4		17.1
	10.4	21.8	
問24 身長・体重(BMI = 体重 / (身長 × 身長) < 18.5)	4.0		6.6
	2.6	6.8	
< 関連設問 >			
問42 食事は自分で食べられますか。(「一部介助(おかずを切ってもらうなど)があればできる」又は「できない」)	0.6		13.2
	0.2	1.4	

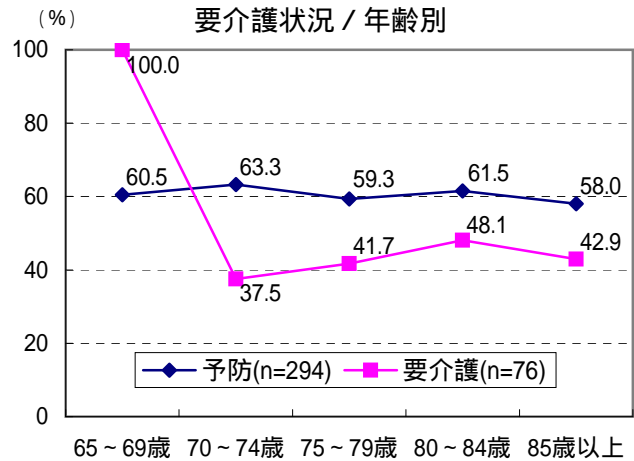
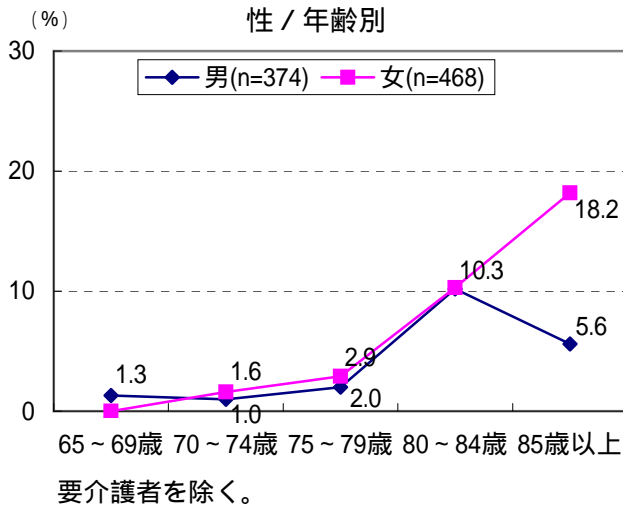
(5) 口腔

該当状況

基本チェックリストに基づく口腔に関する該当状況をみると、要介護者を除く全体で4.0%（男性3.2%、女性4.7%）となっています。おおむね男女ともに年齢が上がるほど該当者割合が高くなっています。

二次予防対象者と要介護者を比較すると、おおむね二次予防対象者が要介護者を上回っています。

該当者割合



回答状況

回答結果

単位：%

設問（該当する回答）	非要介護(n=842)		要介護(n=76)
	一般(n=548)	予防(n=294)	
問25 半年前に比べて、固いものが食べにくくなりましたか。（はい）	28.6		53.9
	12.6	58.5	
問26 お茶や汁物等を飲むときに、むせることがありますか。（はい）	22.8		48.7
	8.8	49.0	
問27 口の湯きが気になりますか。（はい）	23.5		35.5
	9.5	49.7	

< 関連設問 >

問28 歯磨きを毎日していますか。（人にやってもらう場合も含む）（いいえ）	10.5		26.3
	9.5	12.2	
問29 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。（いいえ）	69.8		73.7
	69.2	71.1	

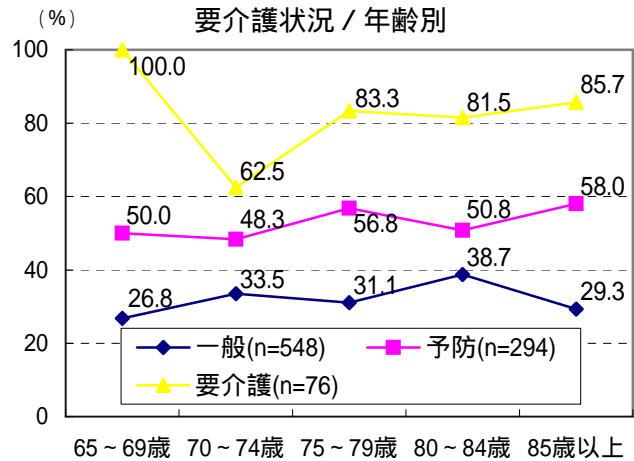
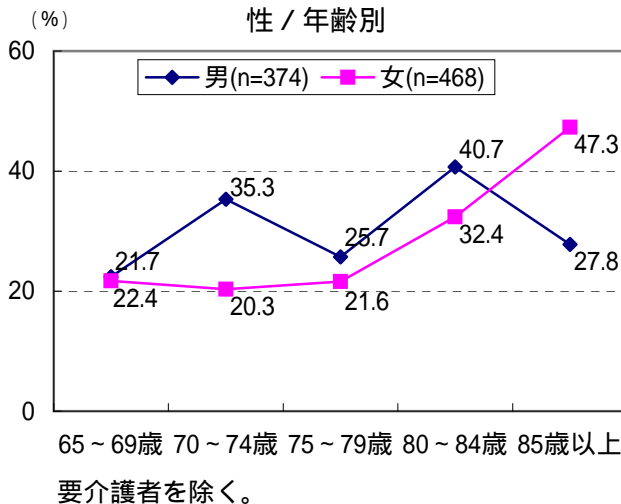
(6) 認知機能

該当状況

基本チェックリストにおける認知症予防の該当状況をみると、要介護者を除く全体の該当者割合は27.8%（男性30.2%、女性25.9%）となっています。おおむね男女ともに年齢が上がるほどリスク割合が高くなっています。

要介護状況別でみると、いずれの年齢でも要介護者、二次予防対象者、一般高齢者の順で該当者割合が高くなっています。

該当者割合



回答状況

回答結果

単位：%

設問（該当する回答）	非要介護(n=842)		要介護(n=76)
	一般(n=548)	予防(n=294)	
問31 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。（はい）	22.4	16.2	53.9
問32 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（いいえ）	4.6	3.1	32.9
問33 今日が何月何日か分からないときがありますか。（はい）	24.7	20.1	61.8

< 関連設問 >

問 2 -1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（認知症）	0.2	0.2	2.4
問67 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。（認知症）	0.4	0.2	10.5

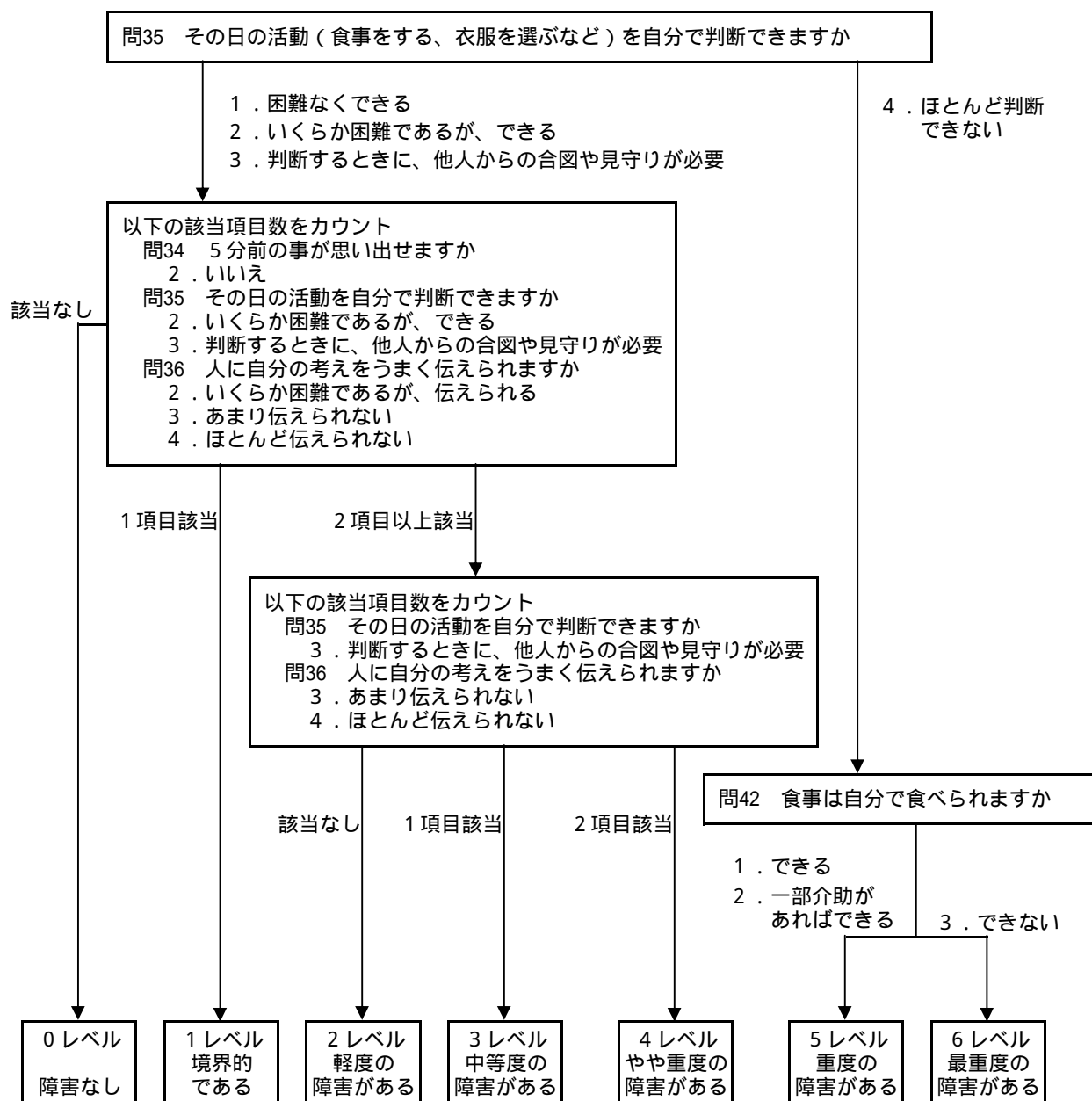
認知機能障害程度（C P S）

設問と評価

今回の調査には、認知機能の障害程度の指標として有用とされるC P S（Cognitive Performance Scale）に準じた設問が含まれています。

設問としては調査票の問34～36及び問42で、内容的には要介護認定調査の主治医意見書欄にある内容であり、0レベル（障害なし）から6レベル（最重度の障害がある）までの評価をするものとなっています。

認知機能の障害程度の評価方法



リスク状況

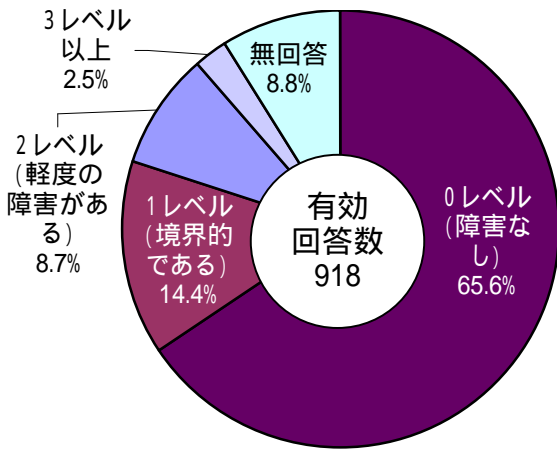
評価結果をみると、1レベル以上の障害程度と評価されるリスク者の割合は、全体で25.6%（男性27.7%、女性24.0%）となっています。

基本チェックリストの認知症予防に関する各設問の該当項目数ごとに、障害程度区分別の構成割合をみると、該当項目数が多くなるほど、2レベル、3レベル以上が多くなっています。認知症予防の評価で3項目該当する場合は、約85%が1レベル以上の認知機能の障害ありという結果となっています。

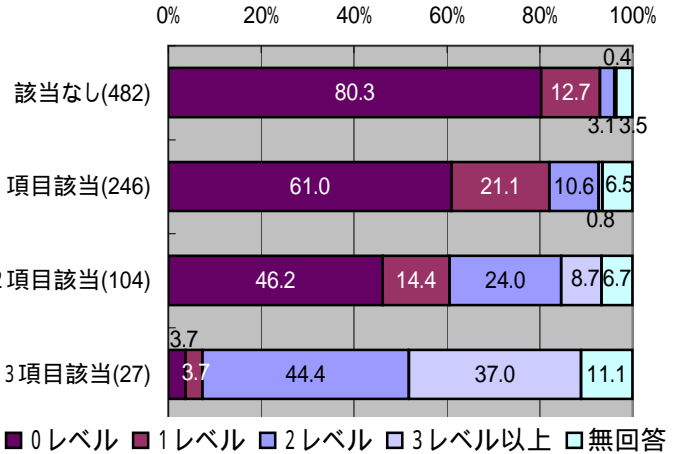
性/年齢別でみると、おおむね男女ともに年齢が上がるほど該当者割合が高く、性別による特に大きな差はみられません。

要介護状況別でみると、いずれの年齢でも要介護者、二次予防対象者、一般高齢者の順でリスク者割合が高くなっています。

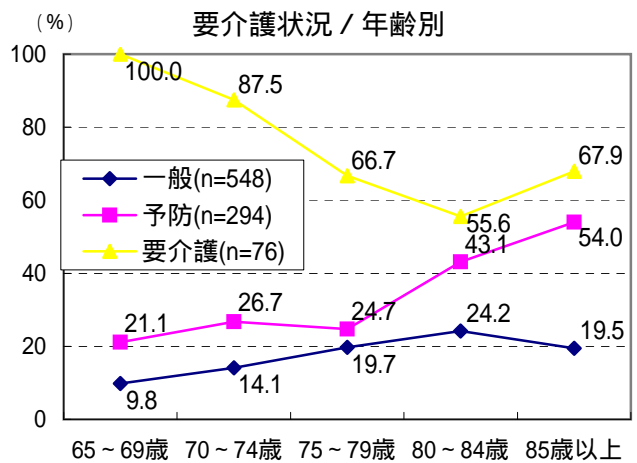
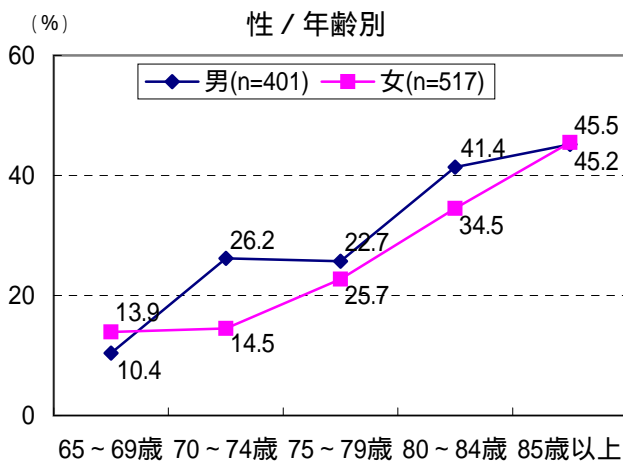
障害程度区別割合



認知症予防該当項目数別



リスク者割合



回答状況

回答結果

単位：%

設問 (該当する回答)	非要介護(n=842)		要介護(n=76)
	一般(n=548)	予防(n=294)	
問34 5分前の事が思い出せますか。(いいえ)	7.5		27.6
	5.7	10.9	
問35 その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。(いくらか困難であるが、できる～ほとんど判断できない)	9.1		51.3
	4.9	17.0	
問36 人に自分の考えをうまく伝えられますか。(いくらか困難であるが、伝えられる～ほとんど伝えられない)	16.4		63.2
	10.8	26.9	
問42 食事は自分で食べられますか。(一部介助(おかずを切ってもらするなど)があればできる、できない)	1.3		13.2
	0.2	1.4	

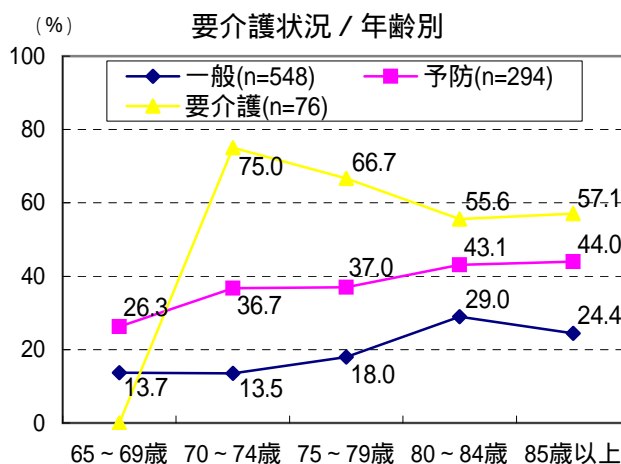
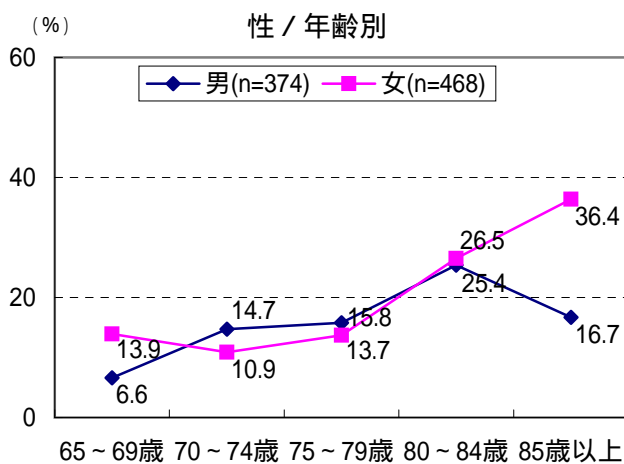
(7) うつ予防

該当状況

基本チェックリストにおけるうつ予防の該当状況をみると、要介護者を除く全体で16.5%（男性15.2%、女性17.5%）となっています。

要介護状況別でみると、ほとんどの年齢で要介護者、二次予防対象者、一般高齢者の順で該当者割合が高くなっています。

該当者割合



要介護者を除く。

回答状況

回答結果

単位：%

設問（該当する回答）	非要介護(n=842)		要介護(n=76)
	一般(n=548)	予防(n=294)	
問73 （ここ2週間）毎日の生活に充実感がない。（はい）	17.0		42.1
	13.9	22.8	
問74 （ここ2週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。（はい）	10.9		30.3
	6.9	18.4	
問75 （ここ2週間）以前は楽に出来ていたことが、今ではおっくうに感じられる。（はい）	22.3		47.4
	15.5	35.0	
問76 （ここ2週間）自分が役に立つ人間だと思えない。（はい）	20.7		46.1
	17.9	25.9	
問77 （ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする。（はい）	20.4		43.4
	12.8	34.7	
< 関連設問 >			
問66 普段、ご自分で健康だと思いますか。（あまり健康ではない、健康ではない）	21.3		63.2
	14.2	34.4	

(8) 生活機能低下

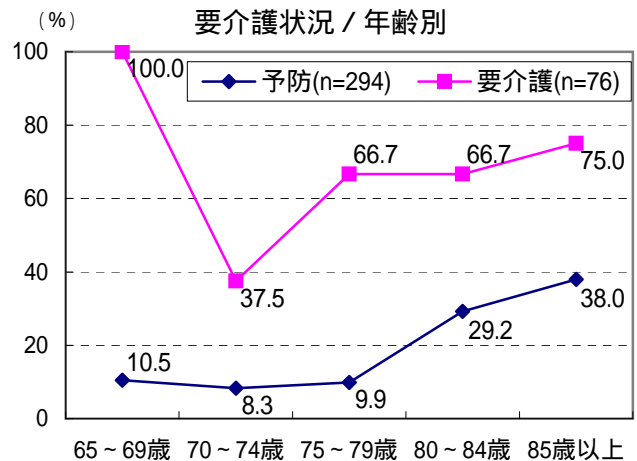
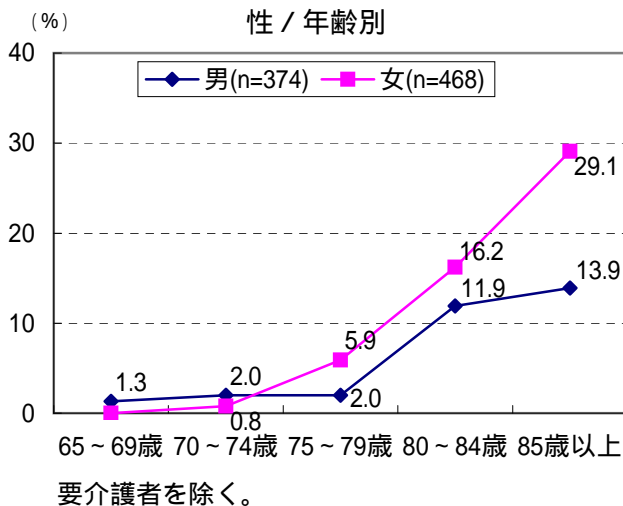
該当状況

基本チェックリストで、うつ予防に関する5項目を除いた20項目中、10項目以上が該当した場合、二次予防対象者となります。

この該当者割合をみると、要介護者を除く全体で6.1%（男性4.5%、女性7.3%）で、男女とも年齢が上がるほど該当者割合が高くなっています。

要介護状況別でみると、要介護者の85歳以上では75%が虚弱に該当しています。

該当者割合



回答状況

回答結果

単位：%

設問（該当する回答）	非要介護(n=842)		要介護(n=76)
	一般(n=548)	予防(n=294)	
問37 バスや電車で一人で外出していますか。（自家用車でも可）（「できるけどしていない」又は「できない」）	18.3		75.0
	12.6	28.9	
問38 日用品の買物をしていますか。（「できるけどしていない」又は「できない」）	12.4		56.6
	8.8	19.0	
問41 預貯金の出し入れをしていますか。（「できるけどしていない」又は「できない」）	19.1		55.3
	16.4	24.1	
問58 友人の家を訪ねていますか。（いいえ）	26.5		72.4
	20.6	37.4	
問59 家族や友人の相談にのっていますか。（いいえ）	13.4		64.5
	10.8	18.4	

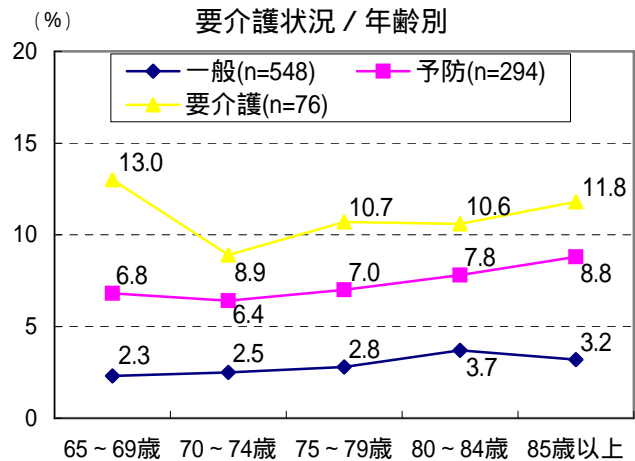
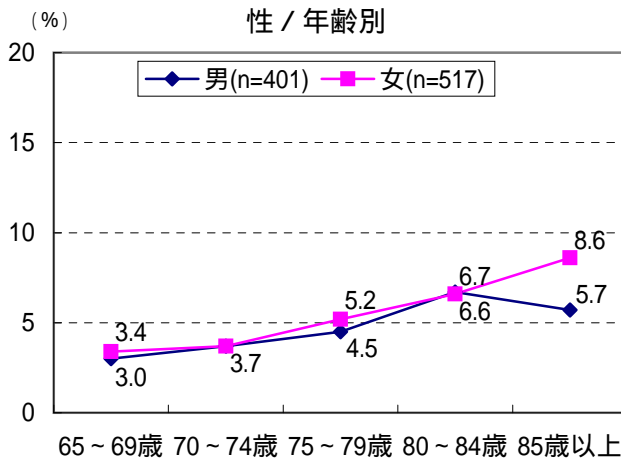
基本チェックリスト得点

この基本チェックリスト20項目について、その合計得点の平均を求めたのが下の図表となっています。おおむね男女とも年齢が上がるほど平均得点が上がっています。

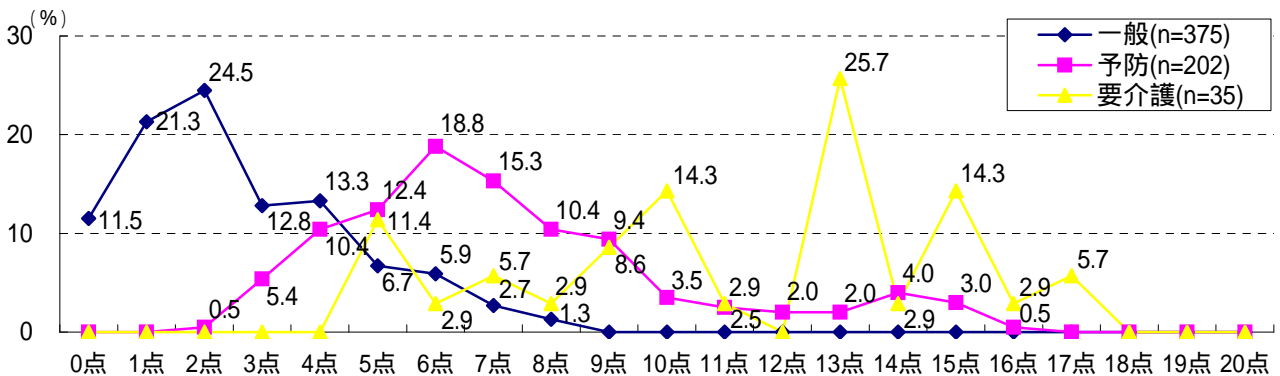
要介護状況別でみると、要介護者、二次予防対象者、一般高齢者の順で、要介護者の生活機能レベルの低下が目立っています。

20項目すべてに回答のあった方のこの得点の相対度数分布をみると、要介護者で13点、二次予防対象者で6点、一般高齢者で2点がそれぞれの分布のピークになっています。

該当者割合



基本チェックリスト得点の相対度数分布



(9) 二次予防対象者

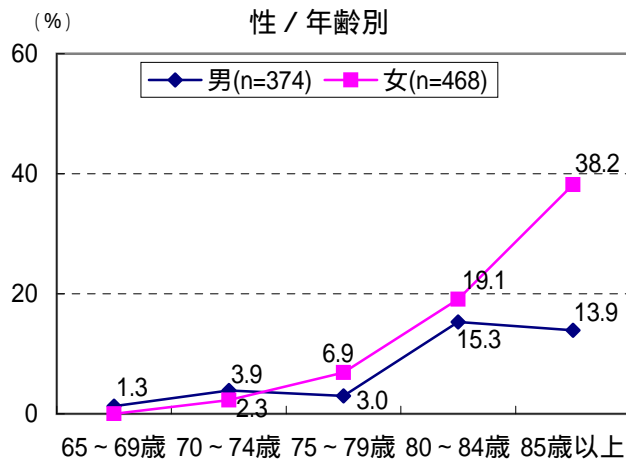
該当状況

二次予防対象者については、運動、口腔など複数の評価項目で重複して該当している場合があるため、こうした重複を除いて該当者割合を求めました。

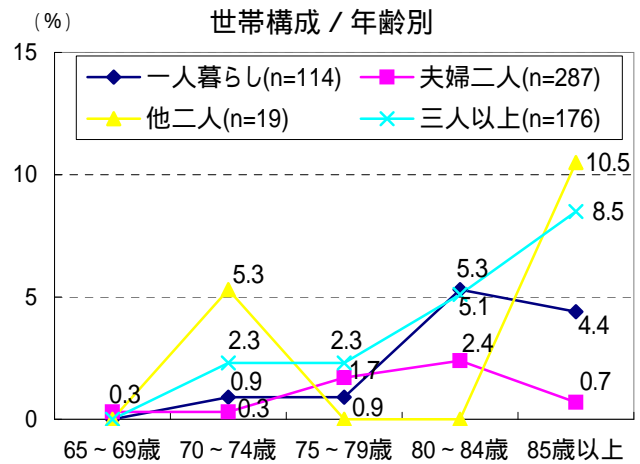
該当者割合は、要介護者を除く全体で7.8%（男性5.9%、女性9.4%）で、女性の方が高くなっています。また、75歳以上で女性が男性を上回り、85歳以上では約25ポイント差となっています。

世帯構成別では、夫婦二世帯で該当者割合が低くなっています。

該当者割合



要介護者を除く。



2 日常生活

(1) 手段的自立度 (I A D L)

評価結果

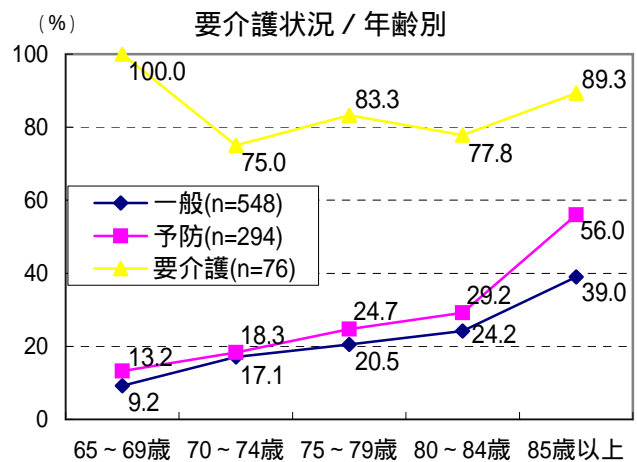
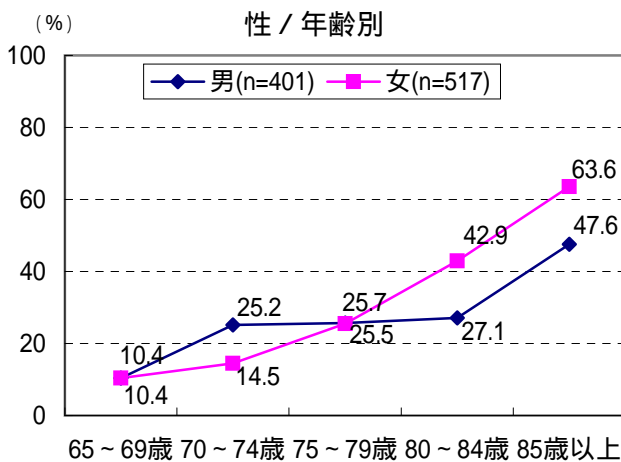
本調査では、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問が設けられています（問37～41、54～59、61、62）。

このうち、手段的自立度 (I A D L) については、各設問に「できるし、している」又は「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価しています。

4点以下を低下者とした評価結果をみると、79歳までは男性の方が女性よりも低下者割合が高くなっていますが、80歳以上では逆に女性の方が高くなっています。

要介護状況別でみると、低下者割合が最も高いのは要介護者で、次いで二次予防対象者、一般高齢者の順となっています。

該当者割合



回答状況

回答結果

単位：%

設問 (得点カウントする回答)	非要介護(n=842)		要介護(n=76)
	一般(n=548)	予防(n=294)	
問37 バスや電車で一人で外出していますか。(自家用車でも可) (「できるし、している」又は「できるけどしていない」)	89.5		26.3
	92.5	84.0	
問38 日用品の買物をしていますか。(「できるし、している」又は「できるけどしていない」)	94.4		51.3
	95.3	92.9	
問39 自分で食事の用意をしていますか。(「できるし、している」又は「できるけどしていない」)	91.6		48.7
	92.7	89.5	
問40 請求書の支払いをしていますか。(「できるし、している」又は「できるけどしていない」)	90.6		56.6
	91.4	89.1	
問41 預貯金の出し入れをしていますか。(「できるし、している」又は「できるけどしていない」)	91.6		53.9
	91.8	91.2	

回答結果（能力と実行状況の差）

単位：%

設問（回答）	非要介護(n=842)		要介護 (n=76)
	一般 (n=548)	予防 (n=294)	
問37 バスや電車で一人で外出していますか。（自家用車でも可）（できるけどしていない）	12.6		9.2
	10.8	16.0	
問38 日用品の買物をしていますか。（できるけどしていない）	10.6		14.5
	8.4	14.6	
問39 自分で食事の用意をしていますか。（できるけどしていない）	23.9		11.8
	25.4	21.1	
問40 請求書の支払いをしていますか。（できるけどしていない）	12.7		19.7
	10.6	16.7	
問41 預貯金の出し入れをしていますか。（できるけどしていない）	15.8		18.4
	14.6	18.0	

(2) 生活機能総合評価

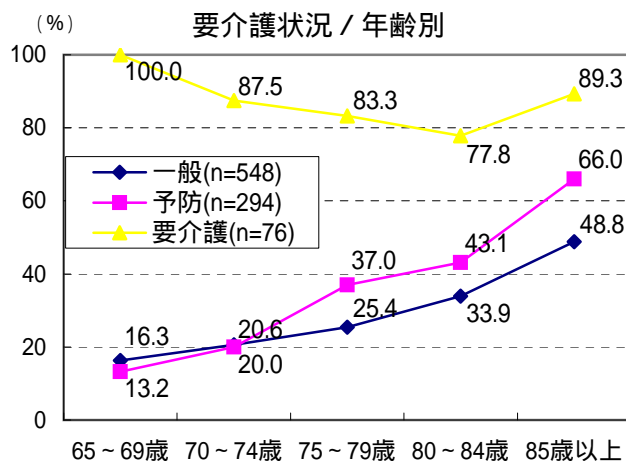
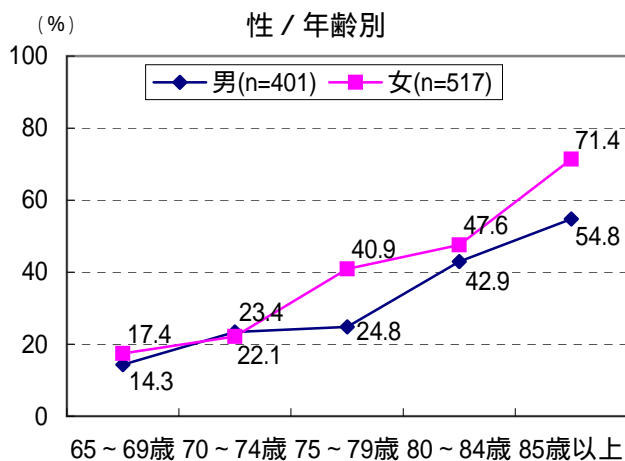
生活機能低下者割合

この手段的自立度に、知的能動性、社会的役割を加えた老研指標13項目での評価結果は、以下のとおりとなっています。評価は、13点満点で評価し、11点以上を「高い」、9～10点を「やや低い」、8点以下を「低い」として評価しています。

10点以下を低下者とした評価結果をみると、70～74歳を除いて女性の方が男性よりも低下者割合が高くなっています。

要介護状況別でみると、低下者割合が最も高いのは要介護者で、次いで二次予防対象者、一般高齢者の順となっています。

該当者割合



(3) 日常生活動作（ADL）

設問と評価

今回の調査では、要介護者が調査対象に含まれていることもあり、日常生活動作（ADL）に関する設問が項目として含まれています。

内容としては、食事、移動、整容、トイレ動作、入浴、歩行、階段昇降、着替え、排便、排尿の10項目で（問42～52）、ADL評価指標として広く用いられているバーセルインデックスに準じた設問内容となっています。

設問ごとの配点は、バーセルインデックスの評価方法に従って、各設問で自立を5～15点とし、10項目の合計が100点満点となるように評価しています。

ADLの評価方法

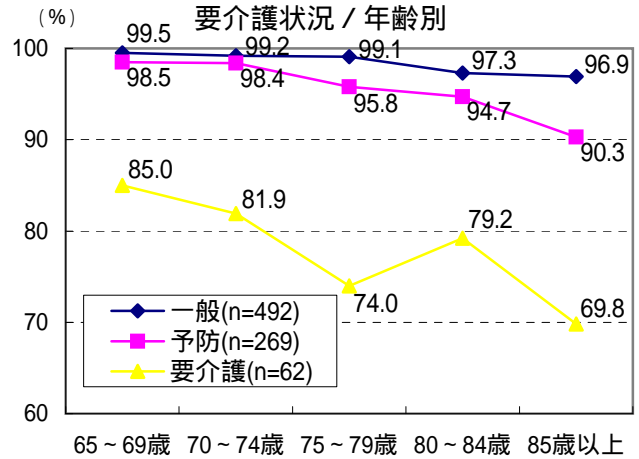
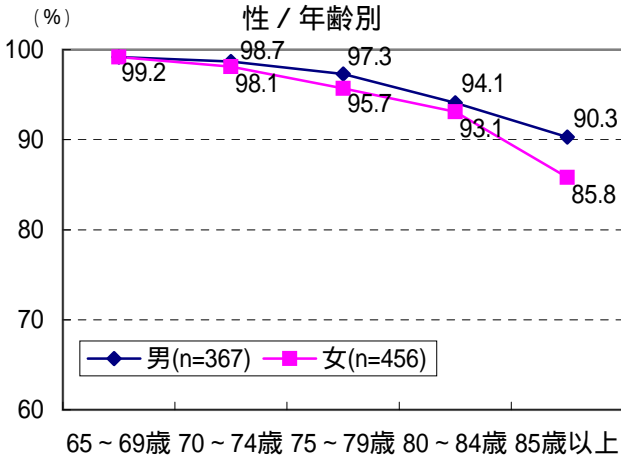
問番号	項目	配点	選択肢
問42	栄養	10 5 0	「1.できる」 「2.一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる」 「3.できない」
問43	ベッドへの移動	15 10 5 0	「1.受けない」 「2.一部介助があればできる」 「3.全面的な介助が必要」 （問44の回答が「1.できる」「2.支えが必要」の場合） 「3.全面的な介助が必要」 （問44の回答が「3.できない」の場合）
問45	整容	5 0	「1.できる」 「2.一部介助があればできる」又は「3.できない」
問46	トイレ	10 5 0	「1.できる」 「2.支えてもらうなど一部介助があればできる」 「3.できない」
問47	入浴	5 0	「1.できる」 「2.支えてもらうなど一部介助があればできる」又は 「3.できない」
問48	歩行	15 10 0	「1.できる」 「2.支えてもらうなど一部介助があればできる」 「3.できない」
問49	階段昇降	10 5 0	「1.できる」 「2.介助があればできる」 「3.できない」
問50	着替え	10 5 0	「1.できる」 「2.介助があればできる」 「3.できない」
問51	排便	10 5 0	「1.ない」 「2.ときどきある」 「3.よくある」
問52	排尿	10 5 0	「1.ない」 「2.ときどきある」 「3.よくある」

評価結果

A D L の合計得点の平均値をみると、女性の85歳以上で平均得点が低下しています。

要介護状況別では、要介護者及び二次予防対象者でおおむね年齢が上がるほど平均得点が低くなり、特に85歳以上で機能低下が顕著になっていることがわかります。

A D L 平均得点

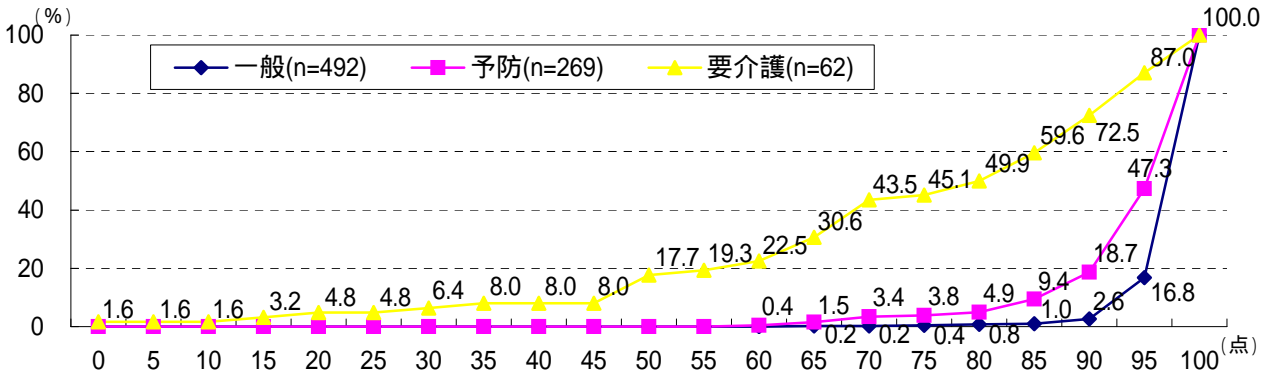


10問全問に回答のあった方の平均。

A D L 得点累積相対度数

A D L 合計得点を、関連する設問すべてに回答のあった方について、要介護状況別に累積相対度数でみると、要介護者では高得点から低得点まで得点が分散しているため、ほぼ右上がり直線状の分布となっています。一方、二次予防対象者、一般高齢者では95点以上が過半数を占めるため、L字型の分布となっています。

累積相対度数



回答状況

回答結果

単位：%

設問（自立と評価できる回答）	非要介護(n=842)		要介護 (n=76)	差
	一般 (n=548)	予防 (n=294)		
問42 食事は自分で食べられますか。（できる）	94.4		80.3	-14.1
	93.6	95.9		
問43 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか。 （受けない）	93.9		78.9	-15.0
	93.4	94.9		
問44 座っていることができますか。（できる）	87.4		69.7	-17.7
	89.6	83.3		
問45 自分で洗面や歯磨きができますか。（できる）	93.6		69.7	-23.9
	92.5	95.6		
問46 自分でトイレができますか。（できる）	95.2		88.2	-7.0
	94.0	97.6		
問47 自分で入浴ができますか。（できる）	94.3		51.3	-43.0
	93.4	95.9		
問48 50メートル以上歩けますか。（できる）	91.1		44.7	-46.4
	92.7	88.1		
問49 階段を昇り降りできますか。（できる）	88.4		31.6	-56.8
	91.8	82.0		
問50 自分で着替えができますか。（できる）	94.8		78.9	-15.9
	93.6	96.9		
問51 大便の失敗がありますか。（ない）	91.3		59.2	-32.1
	92.0	90.1		
問52 尿漏れや尿失禁がありますか。（ない）	72.9		32.9	-40.0
	79.6	60.5		

3 社会活動

(1) 知的能動性

評価結果

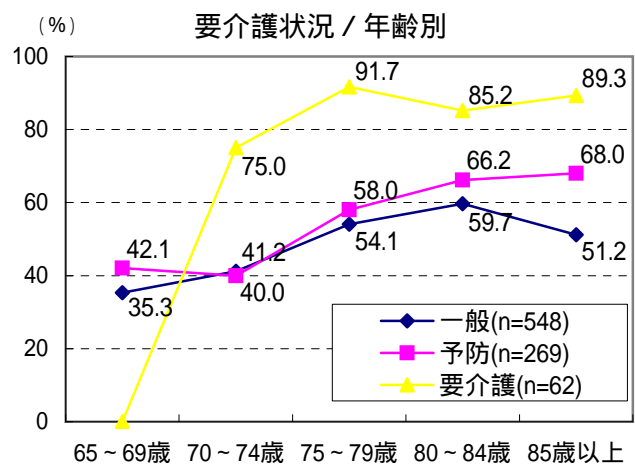
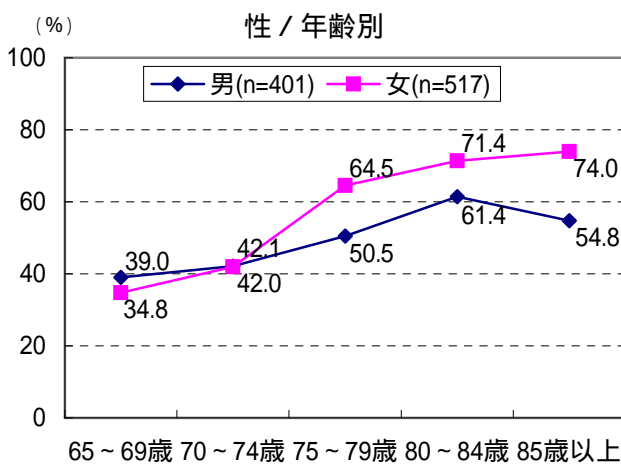
老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問設けられ、「知的能動性」として尺度化されています。（問54～57）

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点の4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

4点以下を低下者とした評価結果をみると、74歳までは男性の方が女性よりも低下者割合が高くなっていますが、75歳以上では逆に女性の方が高くなっています。

要介護状況別でみると、低下者割合が最も高いのは要介護者で、次いで二次予防対象者、一般高齢者の順となっています。

該当者割合



回答状況

回答結果

設問（得点カウントする回答）	単位：%		
	非要介護(n=842)		要介護(n=76)
	一般(n=548)	予防(n=294)	
問54 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（はい）	72.4		28.9
	76.8	64.3	
問55 新聞を読んでいますか。（はい）	88.5		57.9
	90.3	85.0	
問56 本や雑誌を読んでいますか。（はい）	65.7		40.8
	67.7	61.9	
問57 健康についての記事や番組に関心がありますか。（はい）	88.5		57.9
	88.9	87.8	

(2) 社会的役割

該当状況

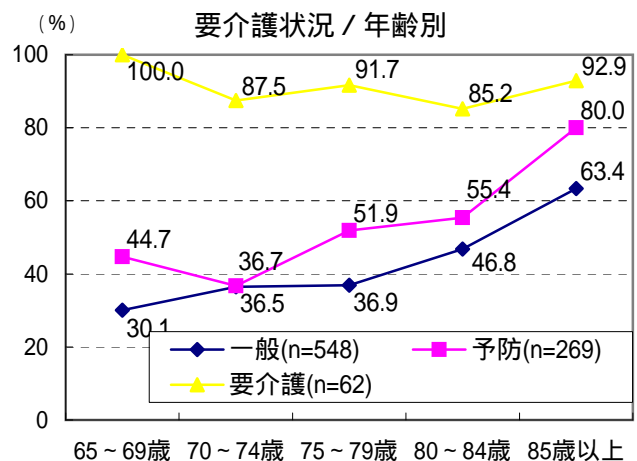
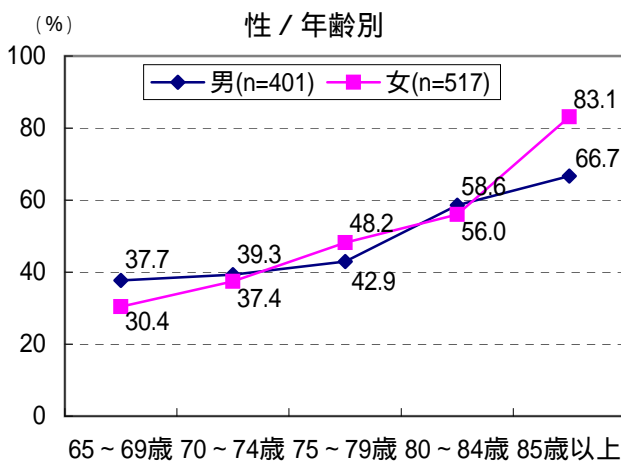
老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問設けられ、「社会的役割」として尺度化されています。(問58、59、61、62)

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

4点以下を低下者とした評価結果をみると、性別による特に大きな差はみられませんが、85歳以上の女性で特に低下者割合が高くなっています。

要介護状況別でみると、低下者割合が最も高いのは要介護者で、次いで二次予防対象者、一般高齢者の順となっています。

該当者割合



回答状況

回答結果

単位：%

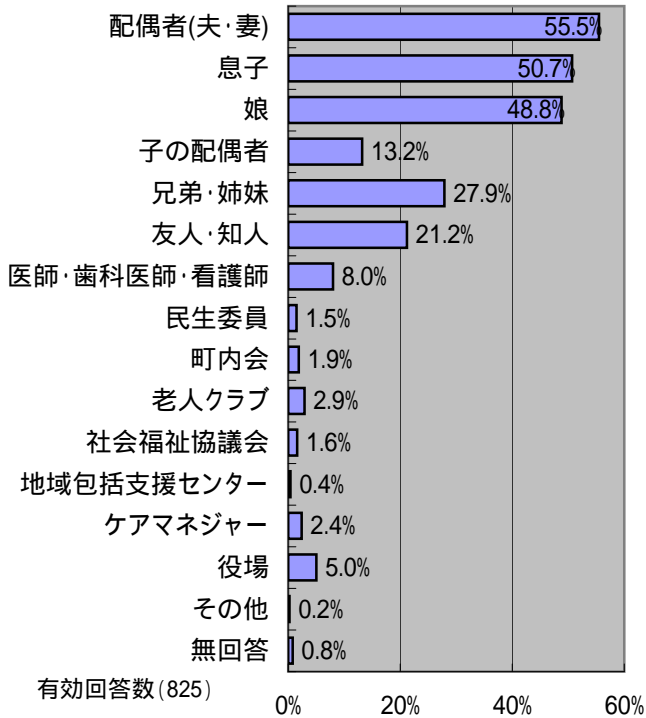
設問 (得点カウントする回答)	非要介護(n=624)		要介護(n=294)
	一般(n=548)	予防(n=76)	
問58 友人の家を訪ねていますか。(はい)	68.1		22.4
	73.7	57.5	
問59 家族や友人の相談にのっていますか。(はい)	79.3		28.9
	81.6	75.2	
問61 病人を見舞うことができますか。(はい)	90.0		43.4
	92.0	86.4	
問62 若い人に自分から話しかけることがありますか。(はい)	85.2		50.0
	85.9	83.7	
< 関連設問 >			
問60 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか。(はい)	91.0		77.6
	90.7	91.5	
問65 地域活動等に参加していますか。(ボランティア活動)	6.2		0.0
	9.5	4.4	

相談相手・地域活動

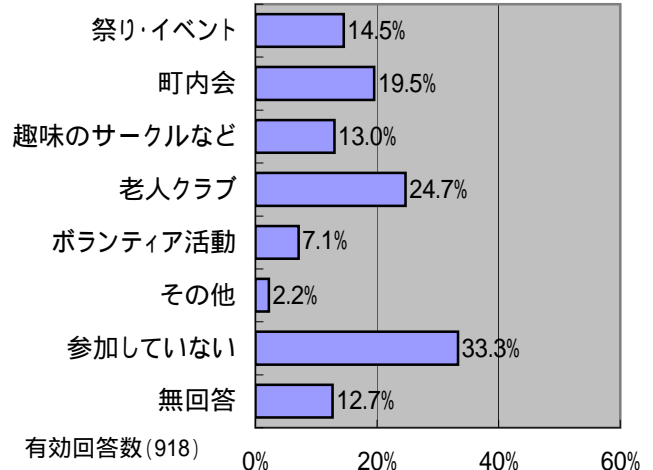
高齢者の相談相手を、「問60 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか。」との設問に「はい」と回答した方についてみると、「配偶者(夫・妻)」が55.5%で最も高く、次いで「息子」が50.7%、「娘」が48.8%となっています。

参加している地域活動としては、「参加していない」が33.3%で最も高くなっています。参加している中では、「老人クラブ」が24.7%となっています。

相談相手



参加している地域活動



第5章 健康・疾病

1 疾病

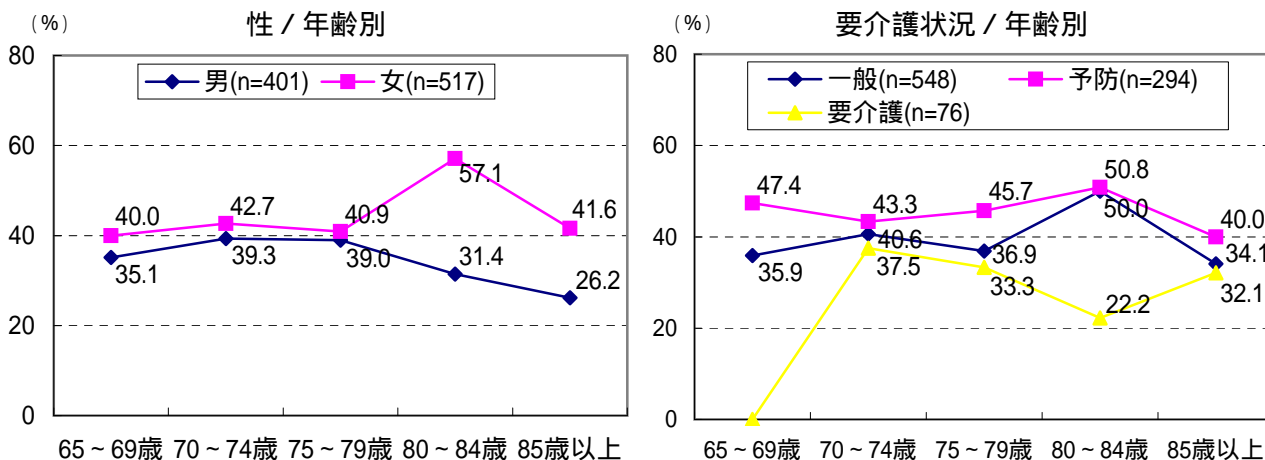
(1) 高血圧

有病率

現在治療中とする病気で最も多いのは、「高血圧」（全体40.3%、男性35.7%、女性43.9%）で、女性の方が男性よりも高くなっています。性/年齢別でみると、80歳以上で女性が男性を大きく上回っています。

要介護状況別でみると、「高血圧」の有病率は、全体で二次予防対象者が45.6%、一般高齢者が39.1%、要介護者が28.9%の順となっています。

有病率



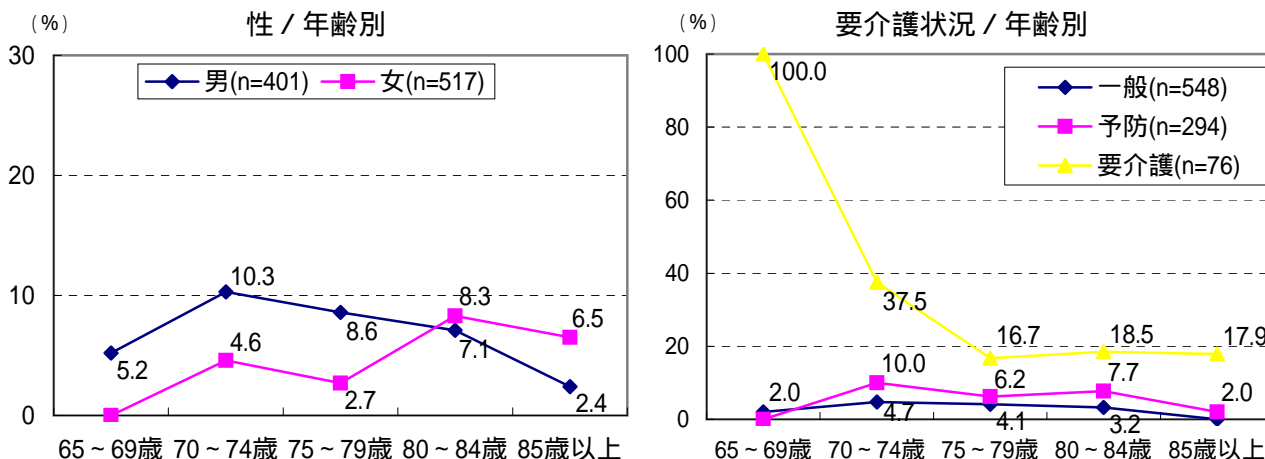
(2) 脳卒中

有病率

要介護の主原因となる「脳卒中」については、有病率は全体で5.6%（男性7.5%、女性4.1%）となっており、男性の方が女性よりも高くなっています。性/年齢別でみると、男性の70～74歳で10.3%と高くなっています。

要介護状況別でみると、「脳卒中」の有病率は、全体で要介護者が21.1%、二次予防対象者が5.8%、一般高齢者が3.3%の順となっています。

有病率



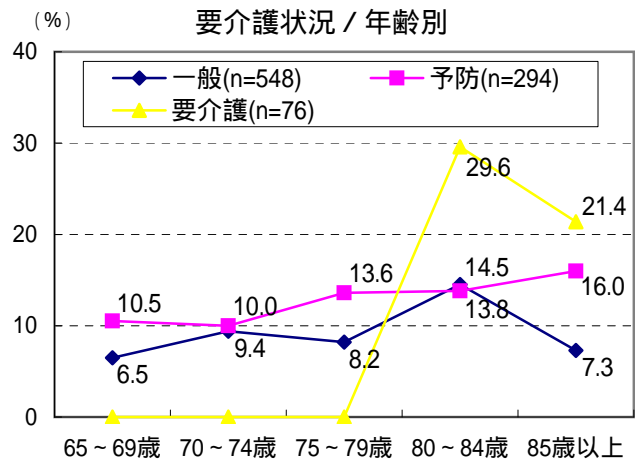
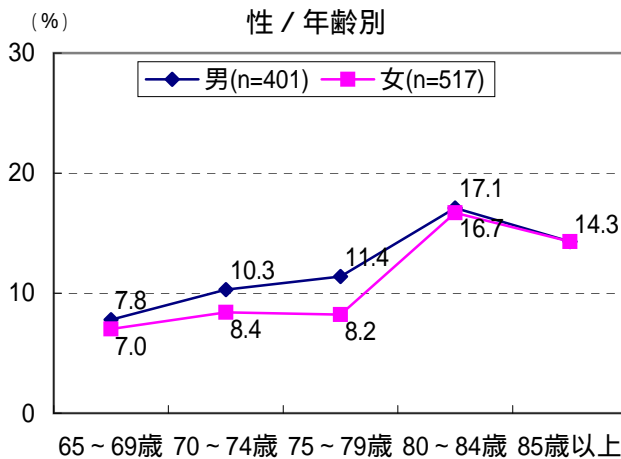
(3) 心臓病

有病率

内臓疾患で要介護の原因となる「心臓病」については、有病率は全体で10.9%（男性11.7%、女性10.3%）となっており、男性の方が女性よりも高くなっています。性/年齢別でみると、男女とも80～84歳で最も高くなっています。

要介護状況別でみると、「心臓病」の有病率は、全体で要介護者が18.4%、二次予防対象者が12.9%、一般高齢者が8.8%の順となっています。

有病率



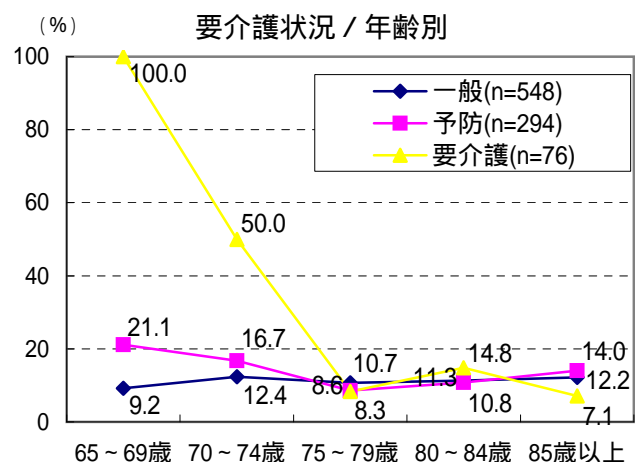
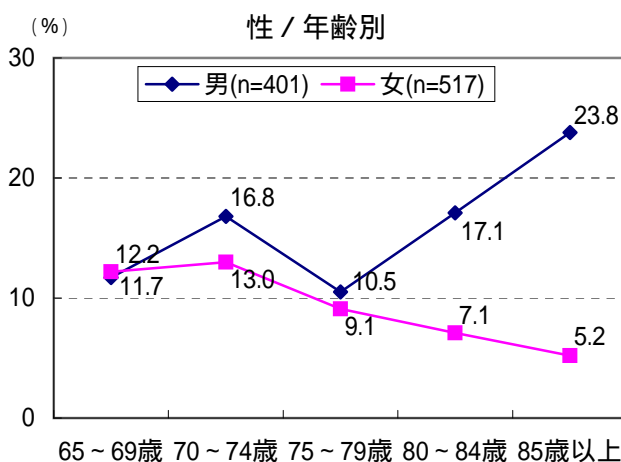
(4) 糖尿病

有病率

同じく内臓疾患で要介護の原因となる「糖尿病」については、有病率は全体で12.1%（男性15.0%、女性9.9%）となっており、男性の方が女性よりも高くなっています。性/年齢別でみると、男性の85歳以上で23.8%と高くなっています。

要介護状況別でみると、「糖尿病」の有病率は、全体で要介護者が15.8%、二次予防対象者が13.3%、一般高齢者が10.9%の順となっています。

有病率



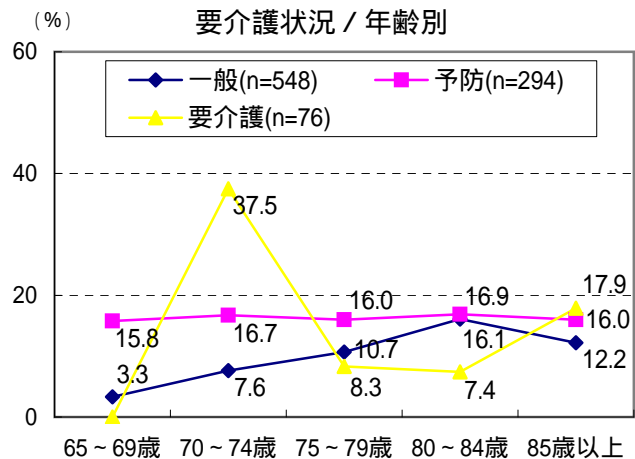
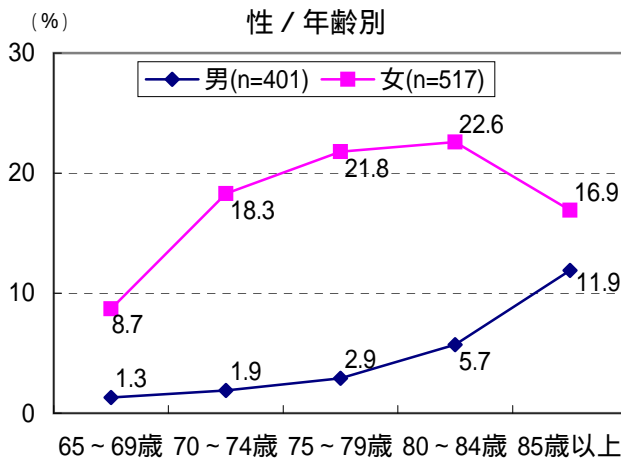
(5) 筋骨格系疾患

有病率

要介護原因となる関節リュウマチを含む「筋骨格系疾患」については、有病率は全体で11.4%（男性3.7%、女性17.4%）となっており、女性の方が男性よりも高く、女性では75～84歳で20%を超えています。

要介護状況別でみると、「筋骨格系疾患」の有病率は、全体で二次予防対象者が16.3%、要介護者が14.5%、一般高齢者が8.4%の順となっています。

有病率



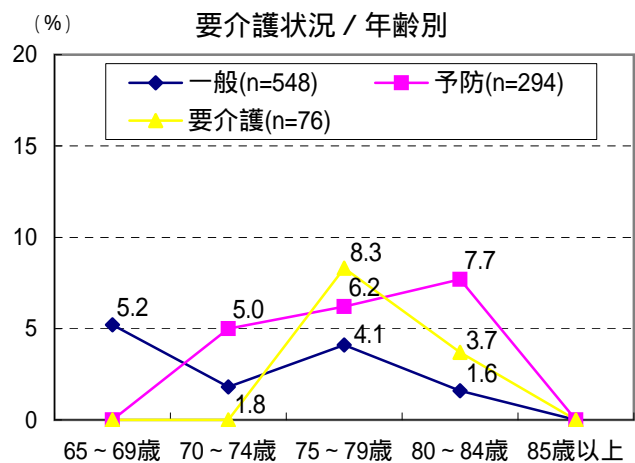
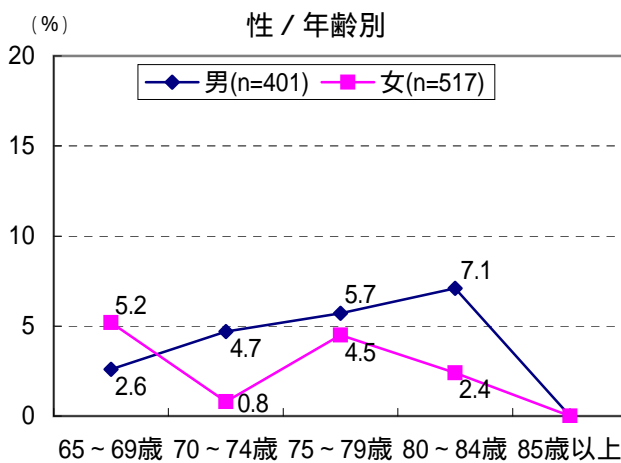
(6) がん

有病率

要介護原因にもなる「がん（新生物）」については、有病率は全体で3.5%（男性4.5%、女性2.7%）となっており、男性の方が女性よりも高くなっています。性 / 年齢別でみると、男性の80～84歳で7.1%と高くなっています。

要介護状況別でみると、「がん（新生物）」の有病率は、全体で二次予防対象者が4.4%、一般高齢者が3.1%、要介護者が2.6%の順となっています。

有病率



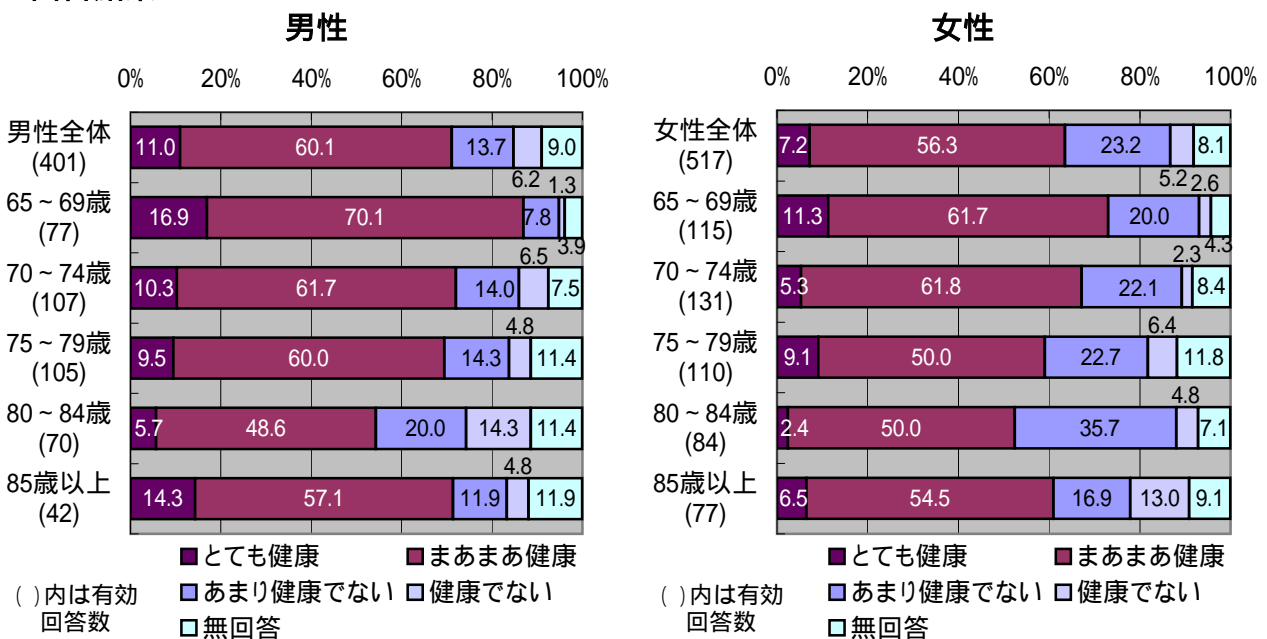
2 主観的健康感

回答結果

高齢者のQOL（生活の質）の指標ともなっている主観的健康感に関する回答結果をみると、全体では「（まあまあ・とても）健康」とする肯定的な回答（健康群）が73.0%、「（あまり）健康でない」とする否定的な回答（不健康群）が27.0%となっています。

これを性/年齢別でみると、すべての年齢で男性の方が「（まあまあ・とても）健康」とする肯定的な回答（健康群）の割合が女性より高くなっています。なお、「（あまり）健康でない」とする否定的な回答（不健康群）は、女性の80～84歳で40.5%と高くなっています。

回答結果

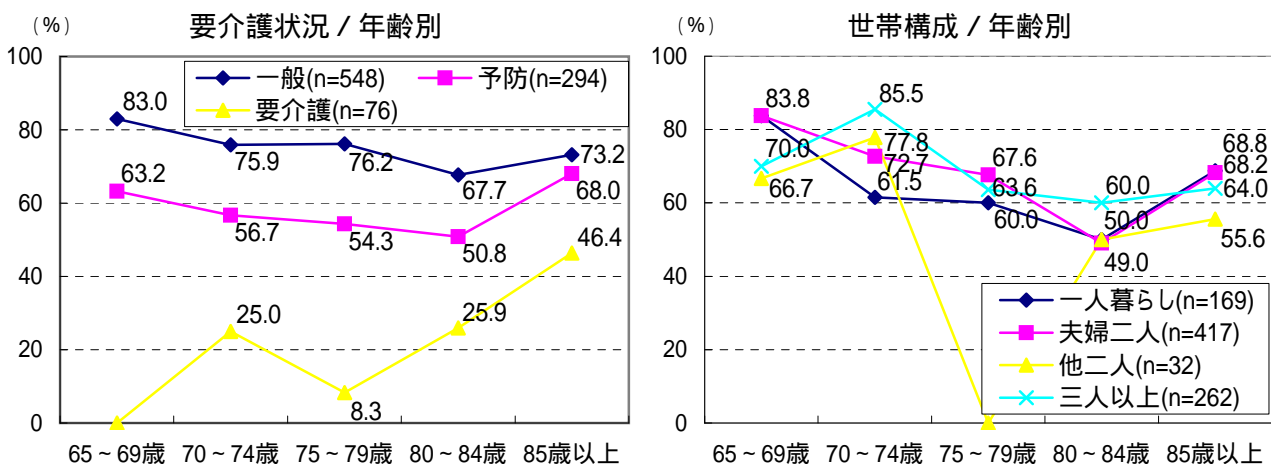


属性別の状況

主観的健康感について肯定的な回答をした健康群の割合を要介護状況別でみると、一般高齢者が最も高く、次いで二次予防対象者、要介護者の順となっています。

世帯構成/年齢別では、三人以上を除き、80～84歳で50%以下と低くなっています。

健康群の割合



関連設問への回答状況

主観的健康感に関連する各設問に対する回答（肯定的な回答の割合）を、健康群と不健康群別にみると、両者で差が大きいのは、問73～77などとなっており、抑うつ感が主観的健康感と関連していることがうかがえます。

関連設問への回答状況

単位：%

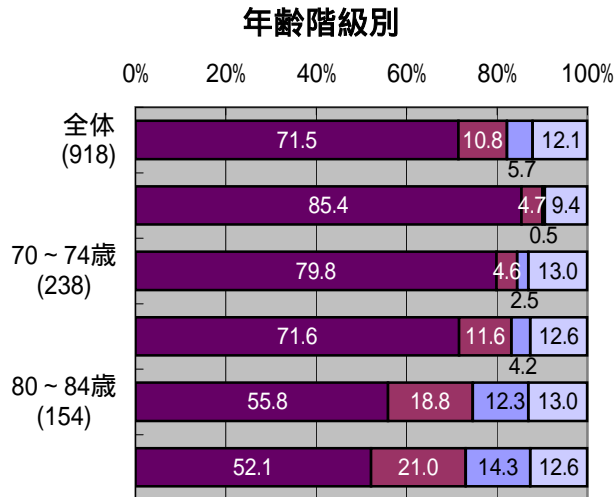
設問（肯定的な回答）	健康群(n=613)		不健康群(n=227)	
	とても健康 (n=81)	まあまあ健康 (n=532)	あまり健康でない (n=175)	健康ではない (n=52)
問4 現在、収入のある仕事をしていますか。（はい）	23.3		11.5	
	33.3	21.8	13.1	5.8
問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（ややゆとりがある、ゆとりがある）	33.1		23.8	
	44.4	31.4	26.9	13.5
問57 健康についての記事や番組に関心がありますか。（はい）	91.2		82.4	
	92.6	91.0	85.7	71.2
問68 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。（3種類以下）	58.6		22.5	
	70.4	56.8	24.0	17.3
問69 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。（いいえ）	17.0		3.1	
	40.7	13.3	3.4	1.9
問73 （ここ2週間）毎日の生活に充実感がない。（いいえ）	76.3		54.2	
	80.2	75.8	62.3	26.9
問74 （ここ2週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。（いいえ）	85.3		57.3	
	86.4	85.2	66.3	26.9
問75 （ここ2週間）以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる。（いいえ）	75.4		57.3	
	82.7	74.2	66.3	26.9
問76 （ここ2週間）自分が役に立つ人間だと思えない。（いいえ）	72.4		51.5	
	75.3	72.0	56.6	34.6
問77 （ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがする。（いいえ）	79.3		41.9	
	84.0	78.6	45.7	28.8

第6章 介護の状況

(1) 介護の必要性

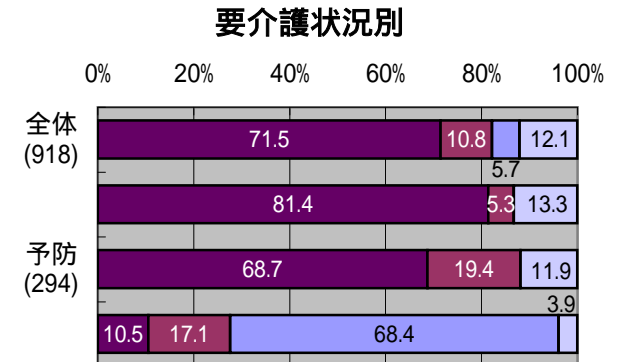
介護の必要性に関する設問（問2）に対する回答をみると、年齢が上がるほど「介護を受けている」、「必要だが現在は受けていない」の割合が高くなっています。

介護の必要性



()内は有効回答数

- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている
- 無回答



()内は有効回答数

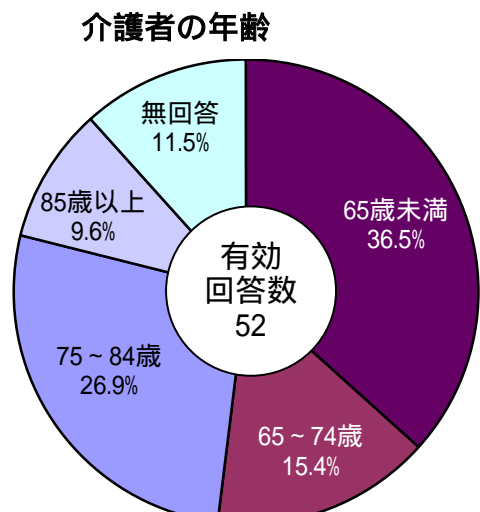
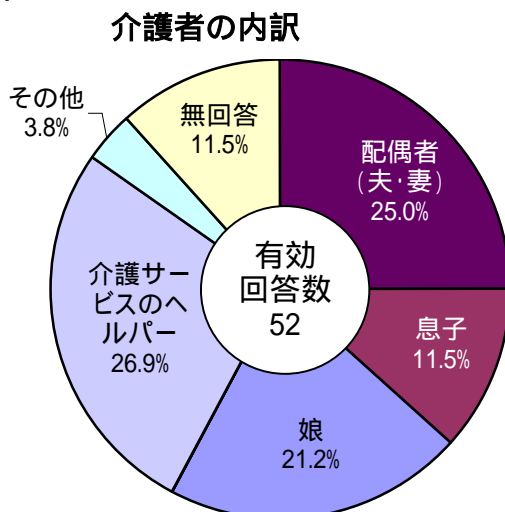
- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている
- 無回答

(2) 介護者

問2で「介護を受けている」と回答した方の介護者は、「介護サービスのヘルパー」が26.9%と最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」が25.0%、「娘」が21.2%と高くなっています。

介護者の年齢は、「65歳未満」が36.5%でもっと高く、次いで「75~84歳」が26.9%となっています。「65~74歳」以降を合わせると、いわゆる老老介護が51.9%となっています。

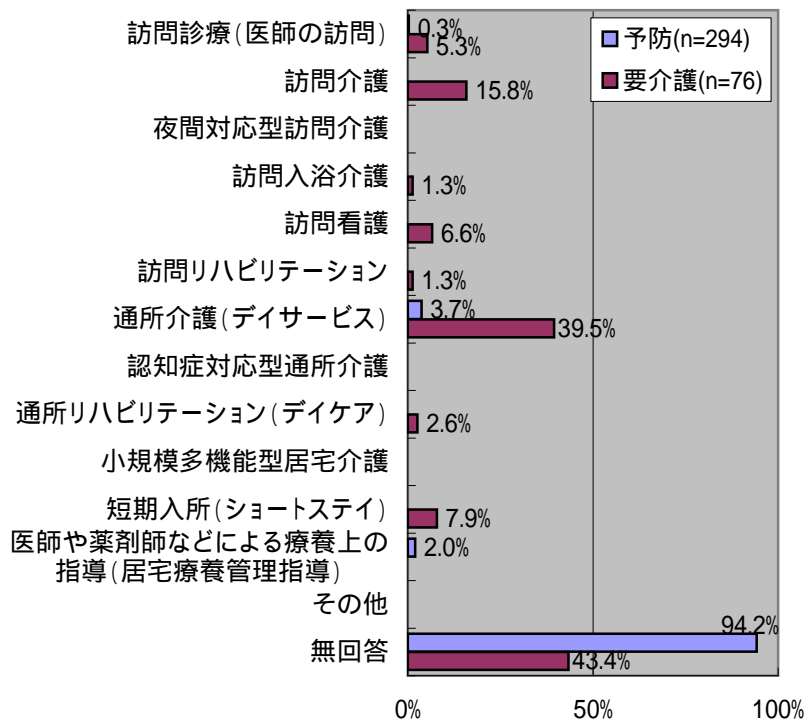
介護者



(3) 利用している在宅サービス

二次予防対象者及び要介護者が利用しているサービスは、「無回答」が高くなっていますが、要介護者で、「通所介護（デイサービス）」が39.5%、「訪問介護」が15.8%などとなっています。

利用している在宅サービス



日常生活圏域ニーズ調査
【介護保険・高齢者福祉に関するアンケート調査票】

アンケート調査ご協力をお願い

皆様には、日頃より高齢者福祉行政の推進に御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この調査は、苫前町にお住まいの65歳以上の方を対象に、苫前町介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画の見直しにあたり、高齢者の方々の生活実態や、保健及び福祉へのニーズ等の調査・分析を行い、計画の見直しに反映させるための基礎資料とすることのほか、介護保険事業の推進のため活用することを目的に実施するものです。

なお、今回の調査は、施設等に入所している方や要介護3以上に認定されている方を除いてご案内しており、収集した個人情報は健康情報という利用者様にとって大切な個人情報であるという認識に立ち、苫前町個人情報保護条例に基づく適正な取扱いを行います。

ご記入の前に

- ・ この調査は、封筒のあて名の方が対象となります。
- ・ 本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、ご一緒に回答していただくようお願いいたします。
- ・ 回答にあてはまる番号を で囲むなど、各設問の指示にしたがってください。
- ・ 平成23年3月1日現在の内容でご記入ください。
- ・ この調査で使う養護の意味は、以下のとおりです。
 介護 ... 介護保険のサービスを受けている場合の他、介護認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
 介助 ... ご自分の意志により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

調査票の回収について

- ・ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、3月31日(木)までに投函くださるようお願いいたします。(切手を貼る必要はありません。)

調査についてのお問い合わせ

苫前町役場 町民課しあわせ係 電話 64 - 2215 (内線238・227)

氏名		性別	男 ・ 女
生年月日	<small>明治 大正 昭和</small> 年 月 日	年齢	歳
電話番号			

次ページ以降の設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に をつけてください。

なお、「その他」を選択された場合は、()内に具体的に書いてください。

アンケートにご記入される方についてお聞きします。

問ア この調査票を記入する方は、どなたですか。(は1つ)

- 1:あて名のご本人が記入
- 2:ご家族が記入(あて名のご本人からみた続柄 :)
- 3:その他()

1. あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの家族構成は、どれですか。(はそれぞれ1つ)

- 1:ひとり暮らし
- 2:家族と同居(二世帯住宅を含む)
- 3:その他(施設入居など)

問2へ

問2へ

問1で「2_家族と同居(二世帯住宅を含む)」と答えられた方は、以下の質問にお答えください。

問1-1 ご自分を含めて何人で暮らしていますか。

人

また、同居されている方はどなたですか(あてはまるものすべてに)

- 1:配偶者(夫・妻)
- 2:息子
- 3:娘
- 4:子の配偶者
- 5:孫
- 6:兄弟・姉妹
- 7:その他()

問1-2 日中、一人になることがありますか。

- 1:よくある
- 2:たまにある
- 3:ない

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(は1つ)

- 1:介護・介助は必要ない
- 2:何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 3:現在、何らかの介護を受けている

問3へ

問2で「2_何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3_現在、何らかの介護を受けている」と答えられた方は、以下の質問にお答えください。

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか(あてはまるものすべてに)

- 1:脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
- 2:心臓病
- 3:がん(悪性新生物)
- 4:呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)
- 5:関節の病気(リウマチ等)
- 6:認知症(アルツハイマー病等)
- 7:パーキンソン病
- 8:糖尿病
- 9:視覚・聴覚障害
- 10:骨折・転倒
- 11:脊椎損傷
- 12:高齢による衰弱
- 13:その他()
- 14:不明

問2-2 (介護・介助を受けている方のみ)主にどなたから介護・介助を受けていますか

- 1:配偶者(夫・妻)
- 2:息子
- 3:娘
- 4:子の配偶者
- 5:孫
- 6:兄弟・姉妹
- 7:介護サービスのヘルパー
- 8:その他()

問2-3 (介護・介助を受けている方のみ)主に介護・介助をしている方の年齢はどれですか

- 1:65歳未満
- 2:65～74歳
- 3:75～84歳
- 4:85～歳以上

問3 あなたの年金の種類はどれですか

- 1:国民年金 2:厚生年金(企業年金あり) 3:厚生年金(企業年金なし)
4:共済年金 5:無年金 6:その他()

問4 現在、収入のある仕事をしていますか 1:はい 2:いいえ

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

- 1:苦しい 2:やや苦しい 3:ややゆとりがある 4:ゆとりがある

問6 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

- 1:一戸建て 2:集合住宅

問7 お住まいは次のどれにあたりますか

- 1:持ち家 2:民間賃貸住宅 3:公営賃貸住宅(道営・町営住宅等)
4:借間 5:その他()

問8 お住まい(主に生活する部屋)は2階より上にありますか

- 1:はい 2:いいえ

2. 運動・閉じこもりについて

問9 階段を、手すりや壁をつたわずに昇っていますか

- 1:はい 2:いいえ

問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

- 1:はい 2:いいえ

問11 15分位続けて歩いていますか

- 1:はい 2:いいえ

問12 5メートル以上歩けますか

- 1:はい 2:いいえ

問13 週に1回以上は外出していますか

- 1:はい 2:いいえ

問14 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

- 1:はい 2:いいえ

問15 外出を控えていますか

- 1:はい

- 2:いいえ

問16へ

問15で「1_はい」と答えられた方のみ、以下の質問にお答えください。

問15-1 外出を控えている理由は、つぎのどれですか(あてはまるものすべてに)

- 1:病気 2:障害(脳卒中などの後遺症) 3:足腰などの痛み 4:トイレの心配
5:耳の障害 6:目の障害 7:外での楽しみがない 8:経済的に出られない
9:その他()

問16 買い物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか(A、Bのそれぞれ1つに)

A-買い物 1:ほぼ毎日 2:週4、5日 3:週2、3日 4:週1日 5:週1日未満
B-散歩 1:ほぼ毎日 2:週4、5日 3:週2、3日 4:週1日 5:週1日未満

問17 外出する際の移動手段は何ですか(あてはまるものすべてに)

1:徒歩 2:自転車 3:バイク 4:自動車(自分で運転) 5:自動車(乗せてもらう)
6:電車 7:路線バス 8:病院や施設のバス 9:車いす 10:電動車いす
11:歩行器・シルバーカー 12:タクシー 13:その他()

3. 転倒予防について

問18 この1年間に転んだことがありますか

1:はい 2:いいえ

問19 転倒に対する不安は大きいですか

1:はい 2:いいえ

問20 背中が丸くなってきましたか

1:はい 2:いいえ

問21 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか

1:はい 2:いいえ

問22 杖を使っていますか

1:はい 2:いいえ

4. 口腔・栄養について

問23 最近6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

1:はい 2:いいえ

問24 身長と体重を記入してください。

身長 cm 体重 kg

問25 半年前に比べて、固いものが食べにくくなりましたか

1:はい 2:いいえ

問26 お茶や汁物等を飲むときに、むせることがありますか

1:はい 2:いいえ

問27 口の渇きが気になりますか

1:はい 2:いいえ

問28 歯磨きを毎日していますか(人にやってもらう場合も含む)

1:はい 2:いいえ

問29 定期的に歯科受診(健診を含む)をしていますか

1:はい

2:いいえ

問30 入れ歯をしていますか

1:はい

2:いいえ

問31へ

問30で「1_はい」と答えられた方のみ、以下の質問にお答えください。

問30-1 入れ歯の噛み合わせは良いですか

1:はい

2:いいえ

問30-2 入れ歯を毎日手入れしていますか

1:はい

2:いいえ

5. 物忘れについて

問31 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか

1:はい

2:いいえ

問32 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

1:はい

2:いいえ

問33 今日が何月何日か分からないときがありますか

1:はい

2:いいえ

問34 5分前の事が思い出せますか

1:はい

2:いいえ

問35 その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか

1:困難なくできる

2:いづらか困難であるができる

3:判断するときに、他人からの合図や見守りが必要

4:ほとんど判断できない

問36 人に自分の考えをうまく伝えられますか

1:伝えられる

2:いづらか困難であるが伝えられる

3:あまり伝えられない

4:ほとんど伝えられない

6. 日常生活について

問37 バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)

1:できるし、している

2:できるけどしていない

3:できない

問38 日用品の買い物をしていますか

1:できるし、している

2:できるけどしていない

3:できない

問39 自分で食事の用意をしていますか

1:できるし、している

2:できるけどしていない

3:できない

問40 請求書の支払いをしていますか

1:できるし、している 2:できるけどしていない 3:できない

問41 預貯金の出し入れをしていますか

1:できるし、している 2:できるけどしていない 3:できない

問42 食事は自分で食べられますか

1:できる 2:一部介助(おかずを切ってもらうなど)があればできる 3:できない

問43 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか

1:受けない 2:一部介助があればできる 3:全面的な介助が必要

問44 座っていることができますか

1:できる 2:支えが必要 3:できない

問45 自分で洗面や歯磨きができますか

1:できる 2:一部介助があればできる 3:できない

問46 自分でトイレができますか

1:できる 2:支えてもらうなど一部介助があればできる 3:できない

問47 自分で入浴ができますか

1:できる 2:支えてもらうなど一部介助があればできる 3:できない

問48 50メートル以上歩けますか

1:できる 2:支えてもらうなど一部介助があればできる 3:できない

問49 階段を昇り降りできますか

1:できる 2:介助があればできる 3:できない

問50 自分で着替えができますか

1:できる 2:介助があればできる 3:できない

問51 大便の失敗がありますか

1:ない 2:ときどきある 3:よくある

問52 尿漏れや尿失禁がありますか

1:ない 2:ときどきある 3:よくある

問53 家事全般ができていますか

1:できている 2:できていない

7. 社会参加について

問54 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか

1:はい 2:いいえ

問55 新聞を読んでいますか

1:はい

2:いいえ

問56 本や雑誌を読んでいますか

1:はい

2:いいえ

問57 健康についての記事や番組に関心がありますか

1:はい

2:いいえ

問58 友人の家を訪ねていますか

1:はい

2:いいえ

問59 家族や友人の相談にのっていますか

1:はい

2:いいえ

問60 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか

1:はい

2:いいえ

問61へ

問60で「1_はい」と答えられた方のみ、以下の質問にお答えください。

問60-1 何かあったときの相談相手は誰ですか(あてはまるものすべてに)

- 1:配偶者(夫・妻) 2:息子 3:娘 4:子の配偶者 5:兄弟・姉妹
6:友人・知人 7:医師・歯科医師・看護師 8:民生委員 9:町内会
10:老人クラブ 11:社会福祉協議会 12:地域包括支援センター 13:ケアマネジャー
14:役場 15:その他()

問61 病人を見舞うことができますか

1:はい

2:いいえ

問62 若い人に自分から話しかけることがありますか

1:はい

2:いいえ

問63 趣味はありますか

1:はい

2:いいえ

問64 生きがいがありますか

1:はい

2:いいえ

問65 地域活動等に参加していますか(あてはまるものすべてに)

- 1:祭り・イベント 2:町内会 3:趣味のサークルなど 4:老人クラブ
5:ボランティア活動 6:その他() 7:参加していない

8. 健康について

問66 普段、ご自分で健康だと思いますか

- 1:とても健康 2:まあまあ健康 3:あまり健康でない 4:健康でない

問67 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(あてはまるものすべてに)

- 1: 高血圧 2: 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3: 心臓病 4: 糖尿病
5: 高脂血症(脂質異常) 6: 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)
7: 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8: 腎臓・前立腺の病気
9: 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10: 外傷(転倒・骨折等)
11: がん(新生物) 12: 血液・免疫の病気 13: うつ病
14: 認知症(アルツハイマー病等) 15: パーキンソン病 16: 目の病気
17: 耳の病気 18: その他() 19: ない

問68 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか

- 1: 1種類 2: 2種類 3: 3種類 4: 4種類 5: 5種類以上 6: 飲んでいない

問69 現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか

1: はい

2: いいえ

問70へ

問69で「1_はい」と答えられた方のみ、以下の質問にお答えください。

問69-1 通院の頻度はどのくらいですか

- 1: 週1回以上 2: 月2~3回程 3: 月1回程 4: 2ヶ月に1回程 5: 3ヶ月に1回程

問69-2 通院には、だれかの介助が必要ですか

1: はい

2: いいえ

問70 以下の在宅サービスを利用していますか

- 1: 訪問診療(医師の訪問) 2: 訪問介護 3: 夜間対応型訪問介護 4: 訪問入浴介護
5: 訪問看護 6: 訪問リハビリテーション 7: 通所介護(デイサービス)
8: 認知症対応型通所介護 9: 通所リハビリテーション(デイケア)
10: 小規模多機能型居宅介護 11: 短期入所(ショートステイ)
12: 医師や薬剤師などによる療養上の指導(居宅療養管理指導) 13: その他()

問71 お酒は飲みますか

- 1: ほぼ毎日飲む 2: 時々飲む 3: ほとんど飲まない 4: もともと飲まない

問72 タバコは吸っていますか

- 1: ほぼ毎日吸っている 2: 時々吸っている 3: 吸っていたがやめた 4: もともと吸っていない

問73 (ここ2週間)毎日の生活に充実感がない

1: はい

2: いいえ

問74 (ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった

1: はい

2: いいえ

問75 (ここ2週間)以前は楽に出来ていたことが、今ではおっくうに感じられる

1: はい

2: いいえ

問76 (ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない

1: はい

2: いいえ

問77 (ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする

1: はい

2: いいえ

質問はここまでです。

記入漏れがないか、今一度お確かめ下さい。

記入した調査票を切り離すことなく、送付されたもの全て(表紙も含みます)を3つ折りにして、同封した返信用封筒に、切手を貼らずに投函してください。

直接、役場町民課しあわせ係又は古丹別支所へお届けしていただいても構いません。

ご協力ありがとうございました。